

令和5年度

# 大磯町教育委員会 の 点検・評価

(令和4年度対象)

大磯町教育委員会

令和5年11月

## 目次

### はじめに

1 教育委員会とは	P 2
2 点検・評価の趣旨	P 3
3 点検・評価の対象	P 3
4 点検・評価の流れ	P 4

### I 教育委員会の活動についての点検・評価

1 令和4年度教育委員会活動一覧	P 5
2 項目別活動状況	P 6
3 項目別点検・評価（内部評価）	P 2 3
4 学識経験者による評価（外部評価）	P 2 8

### II 「令和4年度教育委員会基本方針」についての点検・評価

1 学校教育	P 3 6
2 生涯学習	P 4 2
3 図書館	P 4 5
4 郷土資料館	P 4 8

### III 資料編

1 関係法令	P 5 0
2 「教育委員会定例会議事録」掲載ホームページアドレス	P 5 0
3 令和4年度教育委員会基本方針	P 5 1

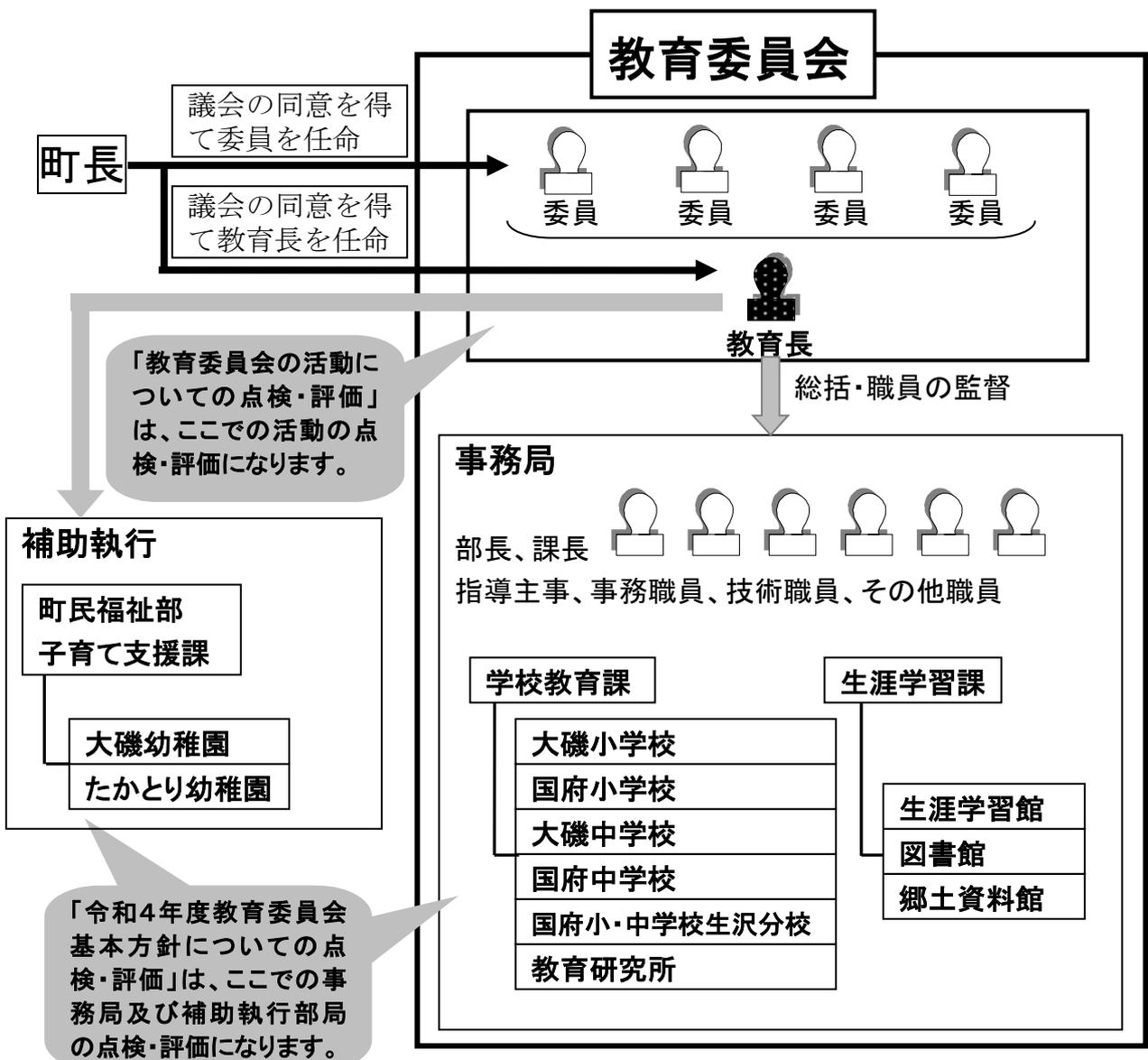
# はじめに

## 1 教育委員会とは

### (1) 教育委員会制度

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の定めにより、教育に関する事務を処理するため、都道府県、市町村等に設置される合議制の執行機関です。

- 大磯町教育委員会は、教育長及び4人の委員をもって構成されています。
- 大磯町教育委員会教育長及び委員は、町長が議会の同意を得て任命します。教育長の任期は3年、委員の任期は4年で、再任されることもできます。
- 教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表（会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者）します。
- 教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれています。事務局の内部組織は、教育委員会の規則で定められています。



## (2) 教育委員会の仕事

- ・学校その他の教育機関の設置、管理、廃止、教育財産の管理に関すること。
- ・教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- ・学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童の入学、転学及び退学の事務、また、幼児の入園、転園及び退園の事務に関すること。
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- ・教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- ・校長、教員その他の教育関係職員の研修、教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全厚生及び福利に関すること。
- ・学校給食に関すること。
- ・保育の実施に関すること
- ・子育て支援に関すること
- ・青少年教育、文化財の保護及びその他社会教育に関すること。
- ・教育に係る調査及び指定統計その他の統計に関すること。
- ・教育行政に関する相談に関すること。
- ・その他「地方教育行政の組織および運営に関する法律」に規定されている教育事務に関すること。

## 2 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、各教育委員会は、毎年、その教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

本町教育委員会では、法改正の趣旨が教育委員会の責任体制を明確化することにより、効果的な教育行政の推進と地域住民への説明責任を果たすことであると捉え、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

## 3 点検・評価の対象

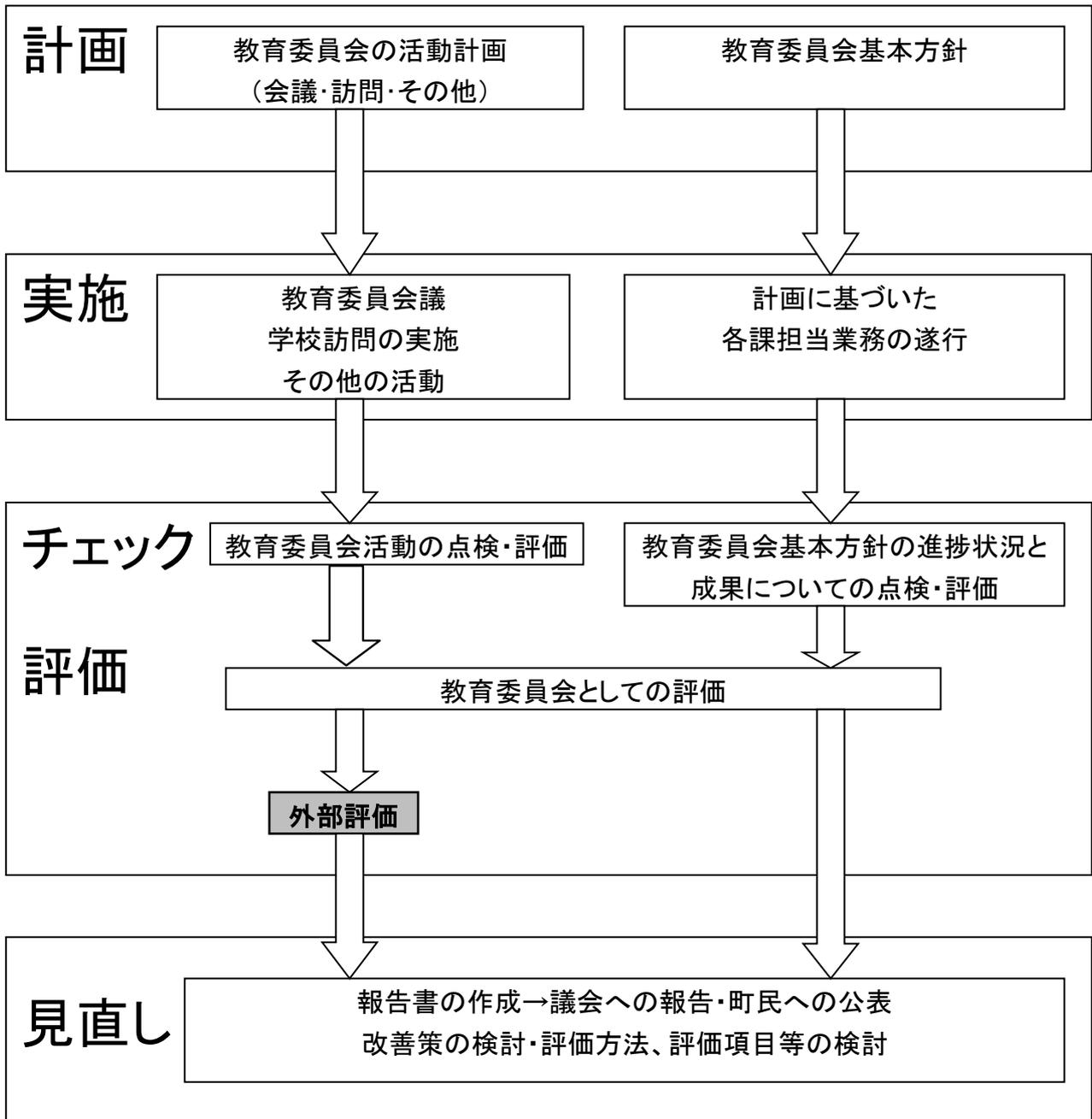
### (1) 教育委員会の活動についての点検・評価

令和4年度の教育委員会の活動を項目別に点検し、自己評価及び課題・改善点等についての内部評価を行い、その後、学識経験者から内部評価の妥当性や指導・助言など外部評価をいただきました。

### (2) 「令和4年度教育委員会基本方針」についての点検・評価

令和4年度教育委員会基本方針に掲げられている各分野の目標に対する重点施策の中で、特に重要課題と捉えた施策について、その実施状況を点検し、実施状況及び成果と課題をまとめ、その後、教育委員による評価を行いました。

#### 4 点検・評価の流れ



# I 教育委員会の活動についての点検・評価

## 1 令和4年度教育委員会活動一覧

会議名		内容等
教育委員会議	定例会	12回（毎月1回）
	臨時会	0回
事務連絡調整会議		12回（定例会開催後）
総合教育会議		3回（7月、1月、3月）
意見交換会・懇談会	PTA役員	未実施
	社会教育委員	未実施
	地域住民・保護者	未実施
訪問	幼稚園・保育園	2回（5月、1月）
	学校	4回（6月、9月、10月、11月、2月）
	その他教育施設	0回
	行事等	運動会・体育祭、文化祭・保育発表会等、入学式・卒業式等、生涯学習関連事業、その他町行事等
その他の活動	神奈川県市町村教育委員会連合会 総会・役員会・研修会	令和4年4月14日 総会 令和4年8月3日 役員会 令和4年11月18日 研修会
	関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会 総会及び研修会	中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
	市町村教育委員会研究協議会	令和4年11月10日 研究協議会
	市町村教育委員会教育長・教育委員 研究協議会	令和5年2月10日 研究協議会

## 2 項目別活動状況

### (1)教育委員会議

令和4年度

第1回定例会〔令和4年4月21日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第1号	大磯町学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
	議案第2号	大磯町社会教育委員の委嘱について
	議案第3号	大磯町図書館協議会委員の任命について
報告事項	報告事項第1号	令和4年度学級編制及び教職員の配置状況について
	報告事項第2号	大磯町青少年指導員の委嘱について
	報告事項第3号	大磯町郷土資料館協議会委員の委嘱について
	報告事項第4号	旧吉田茂邸ダイヤモンド富士見学会の実施結果について
	報告事項第5号	大磯幼稚園の認定こども園移行に係る意見交換会の実施結果について

第2回定例会〔令和4年5月19日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第4号	令和4年6月補正予算における教育委員会関連予算要求について
	議案第5号	令和5年度大磯町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について
	議案第6号	大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例
報告事項	報告事項第1号	令和3年度大磯町一般会計繰越明許費繰越計算書について
	報告事項第2号	令和3年度大磯町立中学校の生徒進路状況について
	報告事項第3号	大磯幼稚園の認定こども園移行に伴う町民説明会の実施結果について

第3回定例会〔令和4年6月16日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第7号	大磯町いじめ問題対策・調査委員会委員の委嘱について
協議事項	協議事項第1号	行政財産目的外使用許可に関する協議について
報告事項	報告事項第1号	絵本作家館野鴻原画展の開催について
	報告事項第2号	大磯町子ども・子育て会議委員の委嘱について

第4回定例会〔令和4年7月21日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第8号	大磯町立小学校で使用する教科用図書の採択について
	議案第9号	大磯町立中学校で使用する教科用図書の採択について
	議案第10号	大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
報告事項	報告事項第1号	令和4年第2回（6月）大磯町議会定例会について
	報告事項第2号	令和4年7月大磯町議会臨時会について
	報告事項第3号	令和4年度第1回いじめ問題対策・調査委員会の開催結果について
	報告事項第4号	大磯小学校給食調理室空調設備設置工事に伴うアスベスト対策工事について
	報告事項第5号	春季企画展「めぐってみよう！大磯宿」の開催結果について
	報告事項第6号	令和4年度第1回大磯町子ども・子育て会議の結果について
	報告事項第7号	大磯町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の募集について
	報告事項第8号	大磯町乳幼児教育・保育情報連絡会の設置について

第5回定例会〔令和4年8月18日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第11号	令和4年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について
	議案第12号	大磯町図書館協議会委員の任命について
報告事項	報告事項第1号	令和3年度教育委員会所管決算見込みについて
	報告事項第2号	コミュニティ・スクール研修会の実施結果について
	報告事項第3号	中学校部活動夏の大会結果について
	報告事項第4号	中学校におけるクラスランチの実施結果について
	報告事項第5号	青少年おもしろ講座 旧吉田茂邸開館5周年記念「旧吉田茂邸体験学習」の実施結果について

第6回定例会〔令和4年9月22日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第13号	大磯町社会教育委員の委嘱について
報告事項	報告事項第1号	絵本作家館野鴻原画展の開催結果について
	報告事項第2号	秋永悠『つくろう！ピザ』絵本原画展の開催について
	報告事項第3号	秋季企画展の開催について
	報告事項第4号	秋季企画展関連行事の開催について
	報告事項第5号	湘南邸園文化祭参加事業について

第7回定例会〔令和4年10月20日開催〕

事項	番号	案件名
協議事項	協議事項第1号	令和4年度大磯町教育委員会の点検・評価（案）について
報告事項	報告事項第1号	令和4年度第3回（9月）大磯町議会定例会について
	報告事項第2号	教職員研修交流事業について
	報告事項第3号	図書館事業の開催について
	報告事項第4号	大磯町公私連携幼保連携型認定こども園設置運営事業者の決定について

第8回定例会〔令和4年11月17日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第14号	令和4年12月補正予算における教育委員会関連予算要求について
	議案第15号	令和4年度大磯町教育委員会の点検・評価について
協議事項	協議事項第1号	部活動の地域移行等について
	協議事項第2号	令和5年度全国学力・学習状況調査のオンライン実施に向けた学習eポータルへの導入について
報告事項	報告事項第1号	予備費対応について
	報告事項第2号	株式会社パイロットコーポレーションとのパートナーシップ協定の締結について
	報告事項第3号	令和4年度大磯町成人式の開催について
	報告事項第4号	秋永悠「つくろう！ピザ」絵本原画展の開催結果について
	報告事項第5号	町立幼稚園への令和5年度入園応募状況について

第9回定例会〔令和4年12月15日開催〕

事項	番号	案件名
報告事項	報告事項第1号	令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等調査結果について
	報告事項第2号	令和4年度文化財消防訓練の実施について
	報告事項第3号	社会教育施設の利用予約のオンライン化について
	報告事項第4号	図書館事業の開催結果について
	報告事項第5号	郷土資料館冬季企画展の開催について

第10回定例会〔令和5年1月19日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第16号	令和5年度当初予算における教育委員会関連予算要求について
	議案第17号	大磯町社会教育委員の委嘱について
報告事項	報告事項第1号	令和4年第4回（12月）大磯町議会定例会について
	報告事項第2号	学校の休業日の変更について
	報告事項第3号	長期休業中の学校閉庁日の設定について
	報告事項第4号	大磯町立国府小学校生沢分校及び大磯町立国府中学校生沢分校への人事交流実施要綱の制定について
	報告事項第5号	令和4年度神奈川県交通安全優良学校等の表彰について
	報告事項第6号	令和4年度大磯町成人式の実施結果について
	報告事項第7号	秋季企画展及び関連行事の開催結果について

第11回定例会〔令和5年2月16日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第18号	大磯町共同学校事務室設置規則
	議案第19号	令和4年度大磯町教育委員会表彰規程に基づく被表彰者の決定について
	議案第20号	県費負担教職員の任免に係る内申について
報告事項	報告事項第1号	令和5年3月補正予算における教育委員会関連予算について
	報告事項第2号	第2回いじめ問題対策・調査委員会の開催結果について
	報告事項第3号	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
	報告事項第4号	令和4年度文化財消防訓練の実施結果について

第12回定例会〔令和5年3月23日開催〕

事項	番号	案件名
付議事項	議案第21号	令和5年度大磯町教育委員会基本方針について
	議案第22号	県費負担教職員の任免に係る内申について
	議案第23号	教育委員会事務局職員及び教育施設等の職員の人事異動について
	議案第24号	大磯町学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
協議事項	協議事項第1号	大磯町郷土資料館運営基本方針について
報告事項	報告事項第1号	教育長職務代理者の指名について
	報告事項第2号	令和5年第1回（3月）大磯町議会定例会について
	報告事項第3号	地域学校協働活動地域コーディネーターの委嘱について
	報告事項第4号	蔵書点検に伴う休館について
	報告事項第5号	春季企画展の開催について
	報告事項第6号	冬季企画展の開催結果について

## (2)事務連絡調整会議

月 日	項 目	内 容
令和4年 4月21日 第1回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大磯町立の中学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例について</li> <li>2 令和4年6月補正予算における教育委員会関連予算要求について</li> <li>3 国府祭について</li> <li>4 令和3年度大磯町小・中学校教材費等保護者負担金について</li> <li>5 令和4年度教育委員会関係事業の開催予定について</li> <li>6 教育長報告</li> </ol>	<p>説明</p> <p>説明</p> <p>情報提供</p> <p>情報提供</p> <p>情報提供</p> <p>報告</p>
令和4年 5月19日 第2回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナワクチン4回目接種の実施について</li> <li>2 総合教育会議の開催について</li> <li>3 公募委員（大磯町社会教育委員、大磯町図書館協議会委員）の募集について</li> <li>4 教科書用図書採択における採択地区について</li> <li>5 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度改善方針について</li> <li>6 大磯町立園長・校長会との意見交換について</li> <li>7 大磯町新庁舎整備基本構想について</li> <li>8 教育長報告</li> </ol>	<p>情報提供</p> <p>協議・調整</p> <p>説明</p> <p>協議・調整</p> <p>情報提供</p> <p>協議・調整</p> <p>情報提供</p> <p>報告</p>
令和4年 6月16日 第3回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館の施設修繕について</li> <li>2 大磯幼稚園の認定こども園移行について</li> <li>3 令和4年7月補正予算における教育委員会関連予算要求について</li> <li>4 教育委員会の点検・評価について</li> <li>5 令和4年度市町村教育長・教育委員研究協議会について</li> <li>6 PTAとの意見交換会について</li> <li>7 教育長報告</li> </ol>	<p>説明</p> <p>説明</p> <p>説明</p> <p>協議・調整</p> <p>協議・調整</p> <p>協議・調整</p> <p>報告</p>
令和4年 7月21日 第4回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童福祉法等の一部改正及び子ども家庭庁設置法の概要について</li> <li>2 大磯町社会教育委員公募委員の募集結果について</li> <li>3 絵画資料の展示について</li> <li>4 大磯町図書館協議会委員公募委員の募集結果について</li> <li>5 令和4年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について</li> <li>6 教育委員会の点検・評価について</li> <li>7 教育委員会訪問事業に係る対象校の変更について</li> <li>8 教職員研修交流事業について</li> <li>9 おおいそ教育ビジョン（案）について</li> <li>10 教育長報告</li> </ol>	<p>説明</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>説明</p> <p>協議・調整</p> <p>説明</p> <p>説明</p> <p>説明</p> <p>報告</p>

月 日	項 目	内 容
令和4年 8月18日 第5回	1 いそっこフェスティバルについて 2 教育委員会の点検・評価について 3 第1回総合教育会議の議事録の確認について 4 定期監査の結果について 5 令和4年度大磯町幼・保・小・中・高一斉避難訓練について 6 新採用教員等研修会の実施結果について 7 教育長報告	説明 協議・調整 確認 報告 説明 報告 報告
令和4年 9月22日 第6回	1 大磯町認定こども園設置運営事業者選定委員会第一次審査の結果について 2 いそっこフェスティバルについて 3 チャレンジフェスタについて 4 教育委員会の点検・評価について 5 令和4年度市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）への出欠について 6 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について 7 教育長報告	報告 説明 説明 協議・調整 協議・調整 報告 報告
令和4年 10月20日 第7回	1 二価ワクチン接種の実施について 2 成人式の開催について 3 おおいそ文化フェスティバルの開催について 4 令和4年12月補正予算における教育委員会関連予算要求に係る協議について 5 令和5年度教育委員会予算編成スケジュールについて 6 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について 7 令和4年度交通安全優良学校について 8 令和4年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会について 9 ㈱パイロットコーポレーションとのパートナーシップ協定について 10 教育長報告	情報提供 説明 説明 説明 協議・調整 報告 報告 協議・調整 報告 報告
令和4年 11月17日 第8回	1 大磯町大磯・国府学童保育クラブ運營業務委託事業者の決定について 2 令和4年度「いそっこフェスティバル」の実施結果について 3 明治150年記念冊子「未来へつなぐ想いーわたしたちの大磯の歴史ー」の刊行について 4 令和5年度教育委員会予算要求について 5 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について 6 大磯町立大磯小学校の給食への異物混入について 7 令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会への出欠席について 8 教育大綱改定に向けた今後のスケジュールについて 9 教育長報告	報告 報告 報告 説明 報告 報告 協議・調整 説明 報告

月 日	項 目	内 容
令和4年 12月15日 第9回	1 令和5年度当初予算査定状況について	説明
	2 次期教育大綱・令和5年度大磯町教育委員会基本方針策定に向けたスケジュールについて	説明
	3 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について	報告
	4 おおいそ文化祭に関する意見聴取アンケートの集計結果について	報告
	5 大磯の左義長について	説明
	6 大磯町郷土資料館運営基本方針について	説明
	7 博物館法の一部改正について	説明
	8 大磯町博物館資料の寄贈及び寄託取扱要綱について	説明
	9 令和4年12月(12月27日)補正予算における教育委員会関連予算要求について	説明
	10 令和5年度の始業式及び入学式、夏季休業の日程について	説明
	11 令和4年度全国学力・学習状況調査結果等について	報告
	12 令和5年度全国学力・学習状況調査への参加及び協力について	説明
	13 大磯町共同学校事務室設置規則について	説明
	14 国土交通省「ボランティア・サポート・プログラム」について	説明
	15 令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会への出席について	協議・調整
	16 教育長報告	報告
令和5年 1月19日 第10回	1 総合教育会議の開催について	説明・調整
	2 令和5年3月補正予算における教育委員会関連予算要求について	説明
	3 令和5年度大磯町教育委員会基本方針(素案)について	説明
	4 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について	報告
	5 教育長報告	報告
令和5年 2月16日 第11回	1 令和5年度大磯町教育委員会基本方針(案)について	説明
	2 令和5年度教育委員会定例会及び教育委員会訪問日程について	協議・調整
	3 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について	報告
	4 蔵書点検に伴う休館について	説明
	5 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について(文科省通知)	情報提供
	6 令和5年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会(埼玉大会)の大会概要について	情報提供
	7 体罰調査の結果について	報告
	8 いじめ重大事態について	報告
	9 教育長報告	報告

月 日	項 目	内 容
令和5年 3月23日 第12回	1 町立大磯幼稚園の幼保連携型認定こども園化について	説明
	2 無形民俗文化財（年中行事）の実施について	説明
	3 「未来へつなぐ想いーわたしたちの大磯の歴史」の販売について	説明
	4 吉田茂関連製品の販売について	説明
	5 大磯町における新型コロナウイルス感染症の感染状況等について	報告
	6 大磯町教育委員会の所管に係る大磯町個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則について	説明
	7 辞令交付式について	協議・調整
	8 令和5年度神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会について	情報提供
	9 令和5年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（埼玉大会）の大会概要について	情報提供
	10 教育長報告	報告

### (3)総合教育会議

区 分	協議事項	月 日
第1回	1 令和3年度第2回総合教育会議における協議内容の報告 「教員の働き方改革について～教育のデジタル化に対応するには～」 2 大磯町で「学び」・「育つ」子どもたちのために	令和4年 7月14日（木）
第2回	1 大磯町教育大綱の改定について	令和5年 1月27日（金）
第3回	1 大磯町教育大綱の改定について 2 児童生徒の事故等の状況について	令和5年 3月16日（木）

#### (4)意見交換会・懇談会

- ①大磯町立学校PTA連絡協議会役員との意見交換会

令和4年度は未実施

- ②社会教育委員との意見交換会

令和4年度は未実施

- ③中学校地域フォーラム・地域ふれあいの集い・小学校地区懇談会への参加

令和4年度は未実施

## (5)訪問

### ①学校・幼稚園訪問

訪問学校・園名	大磯町立大磯幼稚園	
日 時	令和4年5月19日(木) 13:15 ~ 14:30	
日 程	開会あいさつ	13:15~13:20
	保育参観	13:20~14:00
	職員との懇談	14:05~14:50
	閉会	14:50
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	大磯幼稚園長、教頭、教職員	
主な懇談会内容	<p>【園紹介】 ○家ではできない体験、地域との関わり、保護者のコミュニティを広める集い等を企画して、子育てで選ばれる町を目指している。</p> <p>【大磯幼稚園の保育実践】 ○初めての社会生活を経験する園児にとって、職員は信頼できる大人になる。 ○試行錯誤から遊びが発展していく。自分たちでいろいろな遊び方を考えている。 ○大人が指示をするのではなく、子どもたちからの気付き・発言を大事にしてサポートする。</p> <p>【教育委員より】 ○(おもてなし用の)コースターがとてもかわいい。子どもの発想がすごい。 ○温かい雰囲気のある園。また戻りたいと思える場所は素晴らしい。機械的な保育ではない。 ○遊びを大事にしている園。ごっこ遊びは、どの年代にも有効的な活動。</p>	

訪問学校・園名	大磯町立国府小・中学校生沢分校	
日 時	令和4年6月16日(木) 13:35 ~ 15:15	
日 程	授業参観	13:35~14:20
	職員との懇談	14:30~15:15
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、総括教諭、教諭	
主な懇談会内容	<p>【学校より】 ○入所理由について、以前は非行の子どもが多かったが、現在は、発達障害や性加害によるものが多数を占めている。入所期間は平均1年程度。 ○学園の職員との関わりは、分校の教員にとって貴重なものとなっている。学園と分校の職員が連携し、チームとして子どもを育てている。</p> <p>【教育委員より】 ○先生方は貴重な経験をされていると思う。子どもたちと向き合う時間を大切にしてほしい。 ○様々な特性や背景を持つ子どもたちに対応する先生方の苦労はいかばかりかと思う。子どもたちが明日を幸せに生きていけるように、実践を積み重ねてほしい。</p>	

訪問学校・園名	大磯町立国府保育園	
日 時	令和4年7月21日(木) 12:30 ~ 14:30を予定していたが、 町内での新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、訪問中止	
日 程 (予定)	給食試食	12:30~13:10
	保育参観	13:15~13:30
	職員との懇談	13:30~14:30
訪 問 者		
学校・園懇談会 参加者		
主な懇談会内容		

訪問施設名	旧吉田茂邸	
日 時	令和4年8月18日(木) 13:15 ~ 14:30を予定していたが、 町内での新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、訪問中止	
日 程	概要説明	13:15~13:30
	邸内見学	13:30~14:10
	庭園見学・質疑等	14:10~14:30
訪 問 者		
学校・園懇談会 参加者		
主な懇談会内容		

訪問学校・園名	大磯町立国府中学校	
日 時	令和4年9月22日(木) 12:00 ~ 15:40	
日 程	昼食弁当試食	12:00~13:00
	開会	13:00~13:10
	授業参観	13:10~13:55
	懇談会	14:10~15:30
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、総括事務主査	
主な懇談会内容	<p>【学校より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校研究のキーワードは「学びが高まる」。ICT機器はよく使っているが、どう使うか？が、まだ課題。</li> <li>○学習支援室は、全ての時間に誰かしら教員が生徒に付いている。教員の負担は大きい。1体1のサービスを続けてあげたいことを考えると、人数がいるに越したことはない。</li> <li>○「ありがとうございます」が、よく言える生徒が多い。</li> </ul> <p>【教育委員より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びたくなる」授業ができています。</li> <li>○事務も含めて、学校全体がチームとして学びをつかっていけている。</li> <li>○デジタルとアナログの良いとこどりが大事。場面によってどう使うか。まさに研究主任のおっしゃった通り。</li> <li>○ハード面を整えて、活用したい時にいつでも使えるようにさせてあげたいもの。</li> <li>○自分のことをハッキリ言える子が多い(理科の時間に感じた)。</li> <li>○よく集中して取り組んでいる。</li> <li>○時代に乗りながら学びを工夫していくべき。対話が重要。</li> <li>○生徒同士、すぐに助け合うシーンが印象的。</li> </ul>	

訪問学校・園名	大磯町立大磯中学校	
日 時	令和4年10月20日(木) 13:20 ~ 15:35	
日 程	開会	13:20~13:30
	授業参観	13:30~14:20
	懇談会	14:35~15:35
訪 問 者	教育長、教育委員2名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、総括教諭	
主な懇談会内容	<p>【学校より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昇降機をR2.3月に購入してもらった。教育委員に活用風景を見てもらえてよかった。車の生徒卒業後の扱いについても考えていきたい。</li> <li>○中1生は、良い意味で中学生になっていくにはもう少し時間がかかるかなと感じている。</li> <li>○中2生は、職業教育につなげるために、自分はどんな役に立つ人間なのか？を考えさせている。</li> <li>○中3生は、公立希望が多い。海外の仕事を希望している子もいる。</li> <li>○支援級は、学校外の実体験を通じて楽しそうに過ごしている。</li> <li>○学習支援室のおかげで、何とか学校に来れている子がいる。</li> <li>○個性やニーズの差が激しい。一人ひとりの要望の聞き出しが難しいが、頑張ってやりたい。</li> <li>○不登校の生徒が通い始めた明るい話題もある。教員方のかかわりのおかげ。修学旅行がきっかけで来れるようになった子もいる。</li> <li>○元々、集団が苦手な子が多い。</li> <li>○風通しの良い職場を目指している。ICTチャレンジ、アウトプット、課題解決のためのICT活用方法を見出すべき。</li> <li>○制服がないが、中学生らしい服を選択しているのがすごい。TPOをわかまえている。</li> <li>○プログラミングや3Dプリント。高度な活用ができるPC室が今後できるとうれしい。</li> </ul>	

訪問学校・園名	大磯町立国府小学校	
日 時	令和4年11月17日(木) 12:15 ~ 15:30を予定していたが、 地区での新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、縮小開催	
日 程	授業参観	13:45~14:30
	懇談会	14:30~15:00
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭	
主な懇談会内容	<p>【学校より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度グランドデザインの説明</li> <li>○児童の様子、教職員の様子</li> <li>○給食(令和4年度から給食調理等を業務委託) 学校としても大変助かっている。突発的な調理員の欠席等がないので、安心できる。</li> <li>○施設面について</li> <li>○コミュニティ・スクールについて</li> <li>○開校150周年について(音楽会の実施を予定)</li> <li>○タイムカプセルについて</li> <li>○土曜参観について</li> <li>○来年度に向けて</li> </ul>	

訪問学校・園名	大磯町立たかとり幼稚園	
日 時	令和5年1月19日(木) 13:10 ~ 15:20	
日 程	開会あいさつ	13:10~13:15
	保育参観	13:15~14:00
	職員との懇談	14:20~15:20
	閉会	15:20
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	たかとり幼稚園長、教頭、教職員	
主な懇談会内容	<p>【園より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○園児の数は減少傾向ではあるが、3年保育や預かり保育の良い影響で、たかとり幼稚園を選んでいただいていると感じている。</li> <li>○昔から根付いている大磯町の幼児教育を大事にしながら日々の保育を実践している。</li> <li>○登園後の「好きな遊びをする時間」を大切にしている。</li> <li>○地域とのつながりで、畑で野菜づくりをしている。</li> </ul> <p>【教育委員より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○預かり保育があつて便利だからという理由ではなく、たかとり幼稚園の教育の実績・裏付けがあるからこそ選ばれている。</li> <li>○きめ細やかな教育で子どもたちの成長を支えている。先生方の子どもたちに対する温かさを感じた。</li> <li>○地域のコミュニティで育つ子どもたちが減っているため、幼稚園を核として、国府地区を巻き込んで子どもたちを地域で育てていく。</li> </ul>	

訪問学校・園名	大磯町立大磯小学校	
日 時	令和5年2月16日(木) 12:20 ~ 15:30	
日 程	給食参観・給食試食	12:20~13:00
	学校概要説明	13:00~13:40
	授業参観	13:45~14:30
	懇談	14:30~15:30
訪 問 者	教育長、教育委員3名、教育委員会事務局職員	
学校・園懇談会参加者	校長、教頭、総括教諭、教諭、栄養教諭、養護教諭、事務主事	
主な懇談会内容	<p>【学校より】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○マスクがストレスになっている児童がいる。4月から状況が変わるとよい。</li> <li>○教室の数がぎりぎり。学年の教室だけでなく、教室にいられない子どものための居場所も考えると、これ以上クラス数が増えると厳しい。</li> <li>○コロナ禍で行事のあり方も変わったが、前向きに捉えて実施している。</li> </ul> <p>【教育委員とのグループ懇談】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○テーマ「大磯小学校の子どもたち全員の幸せのために」</li> </ul>	

③行事等

行事名	月日(曜)	対象園・学校等
運動会・体育祭	5月28日(土)	国府中学校体育祭
	6月3日(金)	国府小学校運動会
	6月4日(土)	大磯中学校運動会
	9月16日(金)	国府小・中学校生沢分校運動会
	9月17日(土)	国府保育園運動会
	9月30日(金)	大磯小学校体育大会
	10月11日(火)	大磯幼稚園・たかとり幼稚園運動会
文化祭・保育発表会等	10月14日(金)	大磯中学校文化祭
	10月15日(土)	国府中学校文化祭
	11月17日(木)・18日(金)	大磯小学校学年音楽会
	11月19日(土)	国府保育園保育発表会
	12月7日(水)	大磯幼稚園・たかとり幼稚園保育発表会
	10月31日(月)	いそっこフェスティバル
	中止	おおいそ学園(生沢分校)収穫祭
卒業証書授与式 ・修了証書授与式	3月8日(水)	大磯中学校・国府中学校
	3月14日(火)	国府小・中学校生沢分校
	3月16日(木)	大磯幼稚園・たかとり幼稚園
	3月17日(金)	大磯小学校・国府小学校
	3月18日(土)	国府保育園
生涯学習	4月2日(土) ～9月30日(金)	旧吉田茂邸ミニパネル展「吉田茂と安田靱彦—大磯が結んだ二人の縁—」
	4月20日(水) ～8月31日(水)	大磯自然発見コーナー 「大磯の海藻おしば標本」
	4月23日(土) ～6月12日(日)	春季企画展「めぐってみよう!大磯宿」
	7月2日(土) ～8月31日(水)	ミニ企画展「資料と証言に見る大磯と戦争」
	5月、7月、10月、2月	事業協力:鳴立庵展示ケースの展示
	9月2日(金) ～1月31日(火)	ミニ企画展「あの時、カーニバルがあった～大磯カーニバル全史～」
	9月10日(土) ～12月28日(水)	大磯自然発見コーナー 「貝の不思議」
	10月2日(日) ～3月31日(金)	旧吉田茂邸ミニパネル展「吉田茂と三人の父」
	10月22日(土) ～12月11日(日)	秋季企画展「島崎藤村と大磯を愛した文人たち」
	11月12日(土) ～13日(日)	第21回大磯図書館まつり
	1月5日(木) ～6月30日(金)	大磯自然発見コーナー 「砂浜のいろいろ」
	1月21日(土) ～2月19日(日)	冬季企画展「レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿～自然科学を記録する～」
	休止	第69回おおいそ文化祭
	休止	おおいそ美術展
	1月9日(月・祝)	成人式
参加体制	教育委員・事務局職員	

## (6)その他の活動

### ①神奈川県市町村教育委員会連合会総会

日時	令和4年4月14日(木) 午後4時30分～午後5時15分
開催方法	Zoomミーティングによるオンライン会議
出席者	教育長職務代理
内容	1. 報告 (1) 全国市町村教育委員会連合会表彰について 2. 議題 (1) 令和3年度事業報告及び収支決算について (2) 役員改選について (3) 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (4) その他

### ②関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会

当初の予定	日時: 令和4年5月27日(金) 場所: 栃木大会(市民“いちご”ホール【栃木県真岡市民会館】)
内容	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、総会を書面決議により実施、研修会を研修資料の配布とした。
参加体制	

### ③神奈川県市町村教育委員会連合会第2回役員会

日時	令和4年8月3日(水) 午後2時～午後3時
開催方法	Zoomミーティングによるオンライン会議
出席者	教育長職務代理
内容	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 茅ヶ崎市教育委員会教育長挨拶 4. 役員の紹介 5. 審議事項 議案第1号 令和4年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会について 議案第2号 令和5年度神奈川県市町村教育委員会連合会負担金について 6. その他 7. 閉会

### ④市町村教育委員会研究協議会

日時	令和4年11月10日(木) 午後1時30分～午後4時
開催方法	昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)
対象者	全国の市町村教育委員会教育長、教育委員及び教育委員会事務局職員
出席者	教育長、教育長職務代理、教育委員2名、事務局職員1名随行
内容	1. 開会 2. 行政説明 3. 基調講演 内 容 「ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びによる新しい学びの実現について」 講 師 国立大学法人 東京学芸大学 教授 高橋 純 4. パネルディスカッション 内 容 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICT教育の在り方について」 コーディネーター 国立大学法人 東京学芸大学 教授 高橋 純 パネリスト 埼玉県戸田市教育委員会教育長 戸ヶ崎 勤 群馬県前橋市教育委員会教育長 吉川真由美 文部科学省 5. 閉会

⑤神奈川県市町村教育委員会連合会研修会

日時	令和4年11月18日(金) 午後2時～午後5時
開催方法	茅ヶ崎市民文化会館 小ホール
対象者	神奈川県内33市町村教育委員会教育長、教育委員及び教育委員会事務局職員
出席者	教育長、教育長職務代理、教育委員2名、事務局職員1名随行
内容	1. 開会・挨拶 2. 講演 演 題 『支持待ち世代』の教育の在り方～『損在』を『尊在』に～ 講 師 國學院大學・佐賀大学名誉教授・國學院大學法人参与・法人特別参事 新富 康央 氏 3. 質疑応答 4. 事務連絡 5. 閉会

⑥市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会

日時	令和5年2月10日(金) 午後1時30分～午後4時30分
開催方法	TKP新橋カンファレンスセンター
対象者	全国の市町村教育委員会教育長、教育委員
出席者	教育長、教育長職務代理、教育委員1名
内容	1. 開会・挨拶 2. 行政説明 3. 研究分科会(3つのテーマに分かれグループ討議) ① いじめ対策・不登校支援について ② 地域と学校の連携・協働について ③ 部活動のあり方について 4. 閉会

## R5実施 評価様式

## (1)教育委員会議

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「大磯町教育委員会規則」に則り、大磯町の教育行政が円滑に運営されるために必要な事項を協議する。		
評価項目	評価	評価の主な根拠・課題に対する改善点等
①教育委員会議が、法令等に沿って、その開催にあたり会議の予定、議案を周知し、議事内容を公開するなど、適切に実施されたか	A	法令に則り、教育委員会定例会は毎月1回開催された。 議案等資料を事前配付することにより、会議が効率的・効果的に運営され、各委員は質疑・意見等を活発に行える環境になっている。 定例会の開催日程は、町ホームページに年間予定表を掲載し、町広報でも毎月周知している。会議は傍聴を可能とし、終了後は、速やかに議事録を町ホームページ等を通じて公開し、積極的な情報提供に努めている。
②教育委員会議が、適正な意思決定機関になっているか	A	従来より、教科書採択、いじめ問題、コミュニティ・スクール、中学校給食、教育施設の老朽化、町立幼稚園の認定こども園化、部活動の地域移行などに伴う課題、各種計画の策定、学習環境整備の充実に向けた施策等、多くの課題の方向性の決定において、委員の多様な意見が取り入れられ、合議により適正な意思決定がなされて来た。 今後も様々な教育課題に対応するため、定例会後に行われる事務連絡調整会議の活用、研修会や勉強会等の機会を通じ、審議充実にも努める必要がある。
③教育委員会議が、教育行政における今日的な課題に対応しているか	B	令和4年度から、国府小学校の給食調理業務等の民間委託を開始することで、調理員の充足により安定的な給食提供を図ることができた。また、コミュニティ・スクールがはじまり、これまで以上に「地域とともにある学校」を目指す取組みが進み、部活動の地域移行に伴う実証事業の実施、学校教育施設の改築等に向けた検討などが進んだ年度であった。 さらに、こうした各種施策の実現に際し、教育予算の編成が確実に行われた。 その一方で、町立幼稚園の認定こども園化では、新町長の政策転換により、当初の予定通りに進まない状況であった。 また、いじめ問題においては、常に当事者である児童生徒を中心にいた対策を学校も教育委員会も講じているが、背景の複雑化が深刻となり、報道対応等に苦慮する面が見られた。 教育委員会議では、各種教育施策の進捗状況報告に対する意見や、課題解決に向けた助言を行うが、個人情報保護の点から公開できない部分においても、毎月の定例会後に開かれる事務連絡調整会議で活発な議論を行い、対応に努めている。
④教育委員会議が、地域住民にとって身近なものとなっているか	A	定例会において、付議・協議・報告される案件に対し、関心の深い事項について、地域住民の傍聴がみられる。 また、教育施策の意思決定機関が教育委員会議であるという認識が地域住民にも浸透してきていることから、審議経過を明らかにすること、会議内容の透明性を図ることに配慮した資料づくりや発言がなされている。 今後も、地域住民にとって身近な存在となるよう、今日的な課題に真摯に取り組む必要がある。

<p>⑤総合教育会議において調整が行われた事項について、尊重して教育行政を行っているか</p>	A	<p>令和3年度に引き続き、コロナ禍における学校教育の在り方、教員の働き方改革、教育のデジタル化への対応などをテーマに意見交換を行った。</p> <p>また、新町長の下で行われた2回の総合教育会議では、大磯町教育大綱の改定を中心に意見交換を行い、「子育て・教育でみんなが『わくわくするまちおおいそ』を基本理念とし、地球的規模の視野と持続可能な発展が求められる新しい時代に必要な3つの要素「まなび」「からだ」「こころ」について、子育て・教育を通じてはぐくみ、それに関わる全ての皆さんが楽しく、<b>わくわく</b>するまちづくりを進めていくこととなった。</p> <p>それを踏まえ、令和5年度に向けた教育委員会基本方針を決定した。</p>
総合評価	B	<p>感染症予防対策に努めつつ、「新しい生活様式」に基づく対応を図る中で、ICT教育の推進など様々な課題が見えて来た年度であった。</p> <p>令和4年度は、感染症予防対策を講じつつ、新たな教育施策が進む一方で、町長の交代を機に変革が伴う年度であった。</p> <p>そうした中で、各教育委員の経験や知見を活かした建設的な意見交換を行った。今後も引き続き、時代の変化や予期しない出来事に柔軟かつ適切に対応することが求められている。</p>

(2) 事務連絡調整会議

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

<p>【目的】 教育委員会を円滑に運営するため、事前の勉強会や次回定例会議事の内容確認等を行う。</p>		
評価項目	評価	評価の主な根拠・課題に対する改善点等
①必要に応じて、適宜、開催されたか	A	<p>教育委員会定例会に付す議案や協議、報告事項について、円滑に会議を運営するために、情報共有・確認・調整の場として、毎定例会後に開催された。</p> <p>また、事件や事故、いじめなど重要案件等が発生した場合は、建設的な議論を行った。今後も、臨時的な開催も含め、情報の共有がなされるよう求めたい。</p>
②勉強会等を通じて、今日的な課題や必要な情報が十分得られたか	A	<p>教育予算に関すること、教育委員会基本方針の策定や点検・評価、その他重要事項においては、勉強会等を通じて、十分な情報・資料提供がなされた。</p> <p>また、いじめ問題では、個人情報保護の観点から、情報共有・意見交換を行う場として事務連絡調整会議が欠かせない役割を担っており、今後も活用を図られたい。</p>
③次回の議案、テーマに関して一定の理解がなされたか	A	<p>総合教育会議や定例会での重要議案等の審議に臨むにあたり、詳細な資料と丁寧な説明を受けることで、十分な理解を得ることができた。</p> <p>教育委員会として意思決定を図っていく上では、教育委員が活発に議論できる場が必要であり、今後も多くの機会を設けていきたい。</p>
総合評価	A	<p>多岐にわたる情報を正確に把握し定例会資料として情報提供を行うと共に、日々発生する課題等をメールや電話等を通じて、常に事務局から情報発信する姿勢が見られ、こうした取り組みが会議の円滑な運営につながった。今後も継続することを望みたい。</p>

## (3)意見交換会・懇談会

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 保護者や地域の方々と直接対話することにより、子どもを取り巻く様々な課題を共有し、今後の教育行政に反映させる。		
評価項目	評価	評価の主な根拠・課題に対する改善点等
①懇談会等を通して保護者や地域住民と課題を共有することができたか	B	令和4年度は、感染症対策を講じながら、教育活動を進めてきたが、保護者や地域との意見交換の場を設けるには至らなかった。 しかし、コミュニティ・スクールがスタートし、保護者や地域住民の要望や意見を事務局を通じて把握することはできている。今後も、課題を共有し、実現に向けた取り組みもを教育委員会議等に反映できるように努めたい。
②懇談会等を通して得られた情報やご意見をその後の教育行政に生かすことができたか	B	これまでにいただいていた意見の中では、日中の多くの時間を学校で過ごす児童生徒や教職員等が、安全に安心して学習に取り組むことができる環境を維持する上で、老朽化する学校教育施設改修を望む声があった。 令和3年6月には「教育施設等長寿命化計画」を策定しているが、「教育ビジョン」の検討、学校教育施設基本構想の策定に向けた予算化などが図られ、確実に教育行政に生かす取り組みが進んでいると実感している。
総合評価	B	「地域とともにある学校」を目指し、多くの方と課題を共有できる貴重な機会は今後も活発にあってほしい。 学校と保護者、地域の方々が知恵を出し合い、子どもの豊かな成長を支えるために「目標」や「ビジョン」を共有する関係が構築され、教育行政の意思決定に反映されることを期待したい。

## (4) 訪問(学校・幼稚園・保育園)

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

評価項目	評価	評価の主な根拠・課題に対する改善点等
<p><b>【目的】</b> 学校・幼稚園・保育園現場を訪れることにより、現場が抱えている課題を把握し、教職員との懇談を通し、今後の教育行政に反映させる。</p>		
<p>①学校・幼稚園・保育園の教職員と教育行政を担う教育委員とが、真摯に問題を共有できたか</p>	B	<p>令和4年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、急遽、実施できない機関もあったが、現場の苦労や様々な工夫、課題を共有することはできた。</p> <p>タブレット端末を活用したICT教育は確実に進んでいる手ごたえを感じた。</p> <p>また、不登校や特別支援や個別対応が必要な児童生徒に対しては、保護者と定期的に教育相談を行い、教育支援室やスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー等の活用を図りながら、課題解決に取り組む姿勢が見られた。しかし、教職員の負担や心身の不調に対する対応の必要性を強く感じた。</p> <p>運動会や体育祭・文化祭・部活動などの校内行事及び修学旅行などの校外活動は、各校・園において、児童生徒・保護者の協力を得ながら、感染症予防対策と並行し、工夫して実施に つなげた取り組みは評価したい。</p> <p>今後も、教職員の方々の苦労や思いに寄り添っていくために、話が聞ける機会を持てるとさらに良いと思う。</p>
<p>②学校・幼稚園・保育園訪問を通して得られた情報や意見をその後の教育行政に生かすことができたか</p>	B	<p>感染症対策を講じながら教育活動を進める上で、学校保健特別対策事業費補助金を活用し、衛生用品や学びの保障のための備品等を購入し、教育施設環境の充実に努めた。</p> <p>引き続き、不登校やいじめ、特別支援や個別対応が必要な児童生徒やその保護者との対応に苦慮する教職員の意見を踏まえ、今後も、県費非常勤職員や町費会計年度任用職員の加配等により、教職員の負担軽減を図る必要がある。</p>
<p>総合評価</p>	B	<p>現場が抱える課題は尽きない。</p> <p>教育は人をつくる。未来を生きる子どものために、できる限り現場の教職員の意見を行政に生かせるよう努めたい。</p>

## (5) 訪問(行事等)

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

【目的】 学校・幼稚園・保育園行事や教育委員会主催行事への参加をとおして、教職員、園児・児童・生徒及び地域住民と積極的に交流、意見交換することにより、各学校や地域の取り組みについての認識と理解を深める。		
評価項目	評価	評価の主な根拠・課題に対する改善点等
①教育委員が、園児・児童・生徒、保護者、地域住民と有意義な交流、意見交換が持てたか	B	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、学校・幼稚園・保育園行事は、コロナ禍前と同様とは言わずとも、徐々に実施できることができてはいるが、教育委員の参加は実現できなかった。</p> <p>また、教育委員の研修会議は、会場とオンラインの併用形式で開催され、参加することができた。</p> <p>今後も子ども達の生き生きとした姿を見る貴重な機会に参加できる体制づくりを求めると共に、今後の大磯町の教育行政に役立てていきたい。</p>
②各学校・園や地域の取り組みに関して、認識と理解を深めることができたか	B	<p>行事等を通じて認識する機会はなかったものの、各学校・園の取り組みは、教育委員会定例会や事務連絡調整会議等により、事務局からの報告に基づき理解することはできた。</p>
総合評価	B	<p>子どもの成長、安心・安全を見守る目が温かく行き届いており、保護者、地域住民を含め、日々努力ある活動を行っていただいている。今後は各校・園に設置されるコミュニティ・スクールの場を活用し、さらに大磯らしい教育環境が確立されることを期待する。</p> <p>これからも教育現場のみならず、町ぐるみで子ども達を育てていけるよう、教育委員も地域の方々と交流も含め、常に連携を保てるよう努めたい。</p>

#### 4 学識経験者による評価（外部評価）

【外部評価者】（敬称略、項目ごとの記述記載順：欄中○印）

氏名	所属等	備考
竹内 清	元教育委員	
武沢 護	早稲田大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 客員教授	

#### 【外部評価の概要】

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する上記の方々のご意見をお聞きする機会を設け、次の2点について、外部評価をお願いしました。

- ①内部評価での評価項目や評価そのものが適正・適切であるか（内部評価の妥当性）
- ②内部評価での評価項目や評価そのものが妥当性に欠ける場合や更によりよい評価活動を目指すための指針（指導・助言）

なお、各項目の記述については、外部評価者ごとに（○印）、順に記載しました。

#### （1）教育委員会議

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○教育委員会議が法令に則り、計画通り毎月1回、計12回計画通りに実施された。教育委員会議の重要性を十分理解し、各委員が積極的に発言をし、率直且つ論点を踏まえた協議が熱心になされた。また、教育長は意見の出やすい雰囲気づくりに配慮しつつ適切な議事進行に務めていた。</p> <p>評価項目①については、町の広報やホームページで、適宜、開催日時などを周知するとともに、議事録についても速やかに公開し積極的に町民へ情報提供していることから評価「A」は妥当である。</p> <p>評価項目②については、山積する諸課題について委員の多様な意見を取り入れ、意思決定がなされてきたということであり、教育委員会議が適正な意思決定機関となっていると認められるため評価「A」は妥当である。</p> <p>評価項目③は、山積する今日的諸課題、例えば、給食調理業務の民間委託、スタートしたコミュニティ・スクール、部活動の地域移行、老朽化した教育施設への対応など具体的に動き出したものもある。また、年度途中で新町長に替わったこともあり、新たな政策を踏まえた対応や、いじめ問題などに苦慮したことがうかが</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえての教育活動については、通常の活動が実施できないもどかしさを感じながらも、平常時の状態に近づけるべく懸命に工夫・努力をされてきたことと推察する。</p> <p>そうした通常とは異なった状況の中でも、継続的な課題や新たな教育課題への対応が迫られたが、適切に対応したと考える。</p> <p>総合教育会議は、新町長と「大磯の教育の在り方」について協議するための重要な会議である。意思疎通を十分図り、「将来を担う子どもたちのため」に、今後とも議論を重ねてほしい。</p> <p>最後に、教育委員会議を傍聴して感じたことだが、以前に比べ委員など発言者の声が聞き取りやすくなった。マイクなのかスピーカーの性能なのか、発言者の話し方の工夫なのか、傍聴者への配慮といった面からも今後も継続していただきたい。たとえ、素晴らしい意見を開陳されていても、聞き取れない部分があれば発言者としても残念であろう。後日、議事録で確認することは可能だが、時間が経ってしまうと臨場感が薄れて微妙なニュアンスまでは伝わらないことも考えられる。</p>

える。こうしたことから評価「B」はやむを得ない。

評価項目④は、教育委員会議というものの認識が少しずつ住民に浸透してきているように感じる。それは傍聴者の数にも表れているようである。さらに、身近な存在となるよう課題に真摯に取り組んでいくとの決意を認め、評価「A」は妥当である。

評価項目⑤については、コロナ禍における学校教育のあり方、教育のデジタル化などについて継続的に意見交換をし、内容が深まっていったものとする。新町長のもとで、教育大綱の改定を中心に意見交換をし、これからの新しい時代を見据えた「わくわくするまちおいそ」を基本理念とし、進めていくことになった、このことで今後を期待したい。したがって評価「A」は妥当と考える。

「総合評価」は、年度途中で町長の交替があり、施策面で変革を迫られることがあったということで、その対応に苦慮されたことと推察される。また、いじめ問題でマスコミに取り上げられるような事態になったことなどから、評価「B」はやむを得ない。

○教育委員会議が法令に則り、定例会（12回）が開催され適切に運営されている。

評価項目①については、会議の開催、運営が適切に行われ、開催日程はホームページで周知され、議事録の公開は広報誌やホームページ等で積極的に行われていることから、評価「A」は妥当である。

評価項目②については、教科書採択、いじめ問題、コミュニティ・スクール、中学校給食問題などとともに教育施設の老朽化、認定こども園および部活動の外部委託化などの案件に対し、各委員の多様な意見を取り入れ、事務連絡調整会議と連携し、意思決定機関として適正に機能しており、評価「A」は妥当である。

評価項目③における「今日的な課題」は教育委員会にとって非常に重要なものであり、地域

これからますます高齢化社会になることも踏まえ、傍聴者のことにも引き続き配慮をお願いしたい。

○首長の交代に伴い、教育行政の連続性など難しい課題があり、一方で「新しい学校」の在り方を模索する年度であった。いじめ問題、中学校給食問題、教育施設の老朽化や防災拠点としての体育館の空調整備、コミュニティ・スクールの運営、ICT教育の推進、町立幼稚園の問題などさまざまな教育課題が山積している。

教育委員の教育行政の運営や地域住民への対応などに取り組む姿勢は適切であり、その成果も認められる。児童生徒への生活面や心理面へのサポートをしつつ、健康で安全な学校環境整備や改善に努力していただきたい。

<p>住民にとっても大きな関心事である。今年度は町立幼稚園の認定こども園化、いじめ問題など難しい課題に対応せざるを得なく、さまざまな課題を残したため、評価「B」は致し方ない。</p> <p>評価項目④については、教育委員会議と地域住民とのつながりの重要性である。委員会の努力により、教育施策の意思決定機関としての認識が地域住民に浸透してきており、評価「A」は妥当である。</p> <p>評価項目⑤については、首長が交代し、新体制のもとで教育委員会が今日的なさまざまな課題について情報共有、意見交換などを行っていることが確認できた。よって、評価「A」は妥当である。</p> <p>最後に、総合評価については、首長の交代に伴う教育施策の変更など過渡期の1年であったと見受けられる。評価「B」は致し方ない。</p>	
--	--

## (2) 事務連絡調整会議

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○事務連絡調整会議の目的を十分理解し、取り組んでいることがうかがえる。特に、事前の勉強会は、教育委員会議を充実させ、円滑に運営するためには欠くことのできないものである。そのため、事前の資料準備など事務局の適切な対応が求められており、現によくその役割を果たしていると思われる。</p> <p>評価項目①について、事務連絡調整会議は、教育委員会議に連動するような形で定例会後に開催された。児童生徒指導上の事案など突発的に起こることも踏まえ、必要に応じ臨時開催も視野に入れていることから評価「A」は妥当である。</p> <p>評価項目②について、いじめ問題等児童生徒指導上の問題では、事務連絡調整会議が欠かせないものとなっている。会議では個人情報扱うこともあろうが、その保護には今後とも十分留意されたい。重要事項においては、十分な情報・資料提供がなされたということなので、評</p>	<p>○教育委員会議や総合教育会議の開催に向けて、事前準備として適切な資料の提示をすることは会議の内容の充実には不可欠である。その際、特に個人情報に関わる案件については、その取り扱いは厳格に行っているとは思いますが、万全を期していただきたい。</p> <p>また、事件や事故、いじめの問題の場合、迅速かつ適切な初期対応がその後の展開を左右するといっても過言ではない。そのためにも、臨時会開催を常に念頭に置いておく必要がある。</p> <p>いずれにしても、事務連絡調整会議は教育委員会の中核を担っているとも言える。事務局からの情報発信は随時行っているようであるが、いじめ問題や事故等児童生徒指導上の問題が生じた際、子どもや保護者への対応は、園・学校と連携の上、お互いが共通理解を図れるよう引き続き誠意をもって行ってほしい。</p>

価「A」は妥当である。

評価項目③は、総合教育会議や定例会に臨むにあたり、事務局から議案やテーマについての詳細な資料と丁寧な説明があり、委員は十分な理解を得ることができたことや、今後もタイムリーに機会を設けるとのことから、評価「A」は妥当と考える。

「総合評価」は、定例会に向けての資料作りや情報提供を行っていることだけでなく、日ごろから課題や情報をメールや電話で随時発信する姿勢が円滑な会議の運営に役立っており、今後も継続していくことから、評価「A」は妥当である。

○定期的に教育委員会後に開催される事務連絡調整会議は、教育委員会議の円滑な運営のための重要な役割を担っており、有効に機能していると判断できる。

評価項目①については、教育上の問題、とりわけ事件・事故など緊急を要する生徒指導上の問題などの処理に対し、適切に対応できる態勢が整っており、評価「A」は妥当である。

評価項目②については、定例会の通常案件だけでなく、勉強会等を通して、個人情報保護に留意した議論等がなされた点などから、評価「A」は妥当である。

評価項目③について、総合教育会議や定例の教育委員会議が意思決定機関として機能するために、本会議が十分に機能していることがうかがえる。評価「A」は妥当である。

総合評価について、令和4年度の教育行政に関わる日常的に起こる様々な課題に取り組むなかで、教育委員会議の円滑な運営を目的に、情報共有及び共通理解を促進する役割が果たせていると判断でき、評価「A」は妥当である。

○教育委員会会議や総合教育会議などの円滑な運営のために不可欠となっている事務連絡調整会議が、有効に機能している様子が見えてくる。教育に関わる事案の解決のために、勉強会等の実施や、事務連絡調整会議の役割は大きい。

今後もさらに関連諸会議との連携を取り、連絡調整を密にしてこの機能がさらに有効に働くことを期待するものである。

### (3) 意見交換会・懇談会

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○保護者や地域の方々と直接対話することにより、子どもを取り巻く様々な課題を共有し、教育行政に反映させることは地域連携の上でも大切なことである。</p> <p>評価項目①については、新型コロナウイルス感染症のため、意見交換会や懇談会は開催できなかったが、コミュニティ・スクールがスタートしたこともあり、保護者や住民の意見は事務局を通じてある程度把握できている。今後は、課題を共有し、教育委員会議等に反映できるよう努めたいとの決意は認めるが、会の開催ができなかったことから、評価「B」は致し方がない。</p> <p>評価項目②は、これまでの意見の中で、教育施設の老朽化のための対策を望む声があったという。子どもたちの安全・安心の観点から早急な対応が望まれる。着実に教育行政に生かすとあるが、評価「B」は早急に「A」になる努力をお願いしたい。</p> <p>「総合評価」は、コミュニティ・スクールのスタートに伴い、意見交換会との有機的な結合を図ることが大切ではないか。今後を期待し、評価「B」は妥当である。</p> <p>○教育委員会制度の大きな柱の一つである「地域住民の意向の反映」が必要な理由は、教育が児童生徒の保護者だけでなく、地域住民の関心の高い分野であるからである。PTA 役員、社会教育委員、地域住民や保護者など町民が気軽に参加できる意見交換会や懇談会の実施は非常に重要である。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策のため全面的な開催が困難であった。その中でもコミュニティ・スクールの運営などから地域住民の要望も把握できており、教育長及び事務局を通して大磯町の教育に関わるさまざまな課題が共有された。</p> <p>評価項目①、評価項目②ともに評価は「B」ではあるが、意見交換会や懇談会を通して「教</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症予防のため、このところ開催できていないのは誠に残念である。</p> <p>しかし、事務局の努力で地域住民の意見は把握できているということなので、コミュニティ・スクールでの意見も踏まえ、ぜひ諸施策に生かしてほしい。</p> <p>○教育は児童生徒の保護者だけでなく、地域住民の関心の高い分野であることを考慮すると、町民が気軽に参加できる意見交換会や懇談会の実施は非常に重要である。</p> <p>次年度は「地域とともにある学校」を目指し、PTA 連絡協議会役員との意見交換会、中学校地域フォーラムや小学校地区懇談会の実施の再開などにより、地域の様々な意見を集約する機会が持てることを期待したい。</p>

<p>育施設等長寿命化計画」が策定され、「教育ビジョン」が検討されたことは評価に値する。</p> <p>全体的に、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のなかでの「意見交換会・懇談会」に対する総合評価が「B」であることは致し方ない。</p>	
---	--

(4) 訪問 (学校・幼稚園・保育園)

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○学校や園を訪問し、子どもたちや教職員の活動状況や課題を教育活動の場で把握することは、教育行政の充実という観点からも非常に重要である。</p> <p>評価項目①については、新型コロナウイルス感染症予防のために実施できなかった機関があったのは残念である。訪問先では限られた懇談時間ではあったものの、内容は充実しており意義のあるものになったと感じた。ICT教育が着実に進展している一方、教職員の負担や心身の不調への対応の必要性を痛感するとともに、教職員の苦労や思いを共有できたとのことから評価「B」は妥当である。</p> <p>評価項目②は、懇談会等で把握した課題について、国の補助金を有効に使い教育環境の充実に努めた。また、教職員の負担軽減についても教職員の加配等で対応しようと考えているものの、まだ解決には至ってないとのことから、評価「B」はやむを得ない。</p> <p>「総合評価」については、教育現場の実態を常に把握し、教職員との意思疎通を十分図り、課題解決に向けて取り組む必要がある。そのために、教職員の声を行政に生かせるよう務めたいとあり、評価「B」は妥当である。</p>	<p>○懇談会での報告内容はおおむね肯定的な意見が多かったように読み取った。小学校の給食調理等を業者委託にしたことのメリット、ICT機器の活用と今後の充実に向けての前向きな意見、伝統的に幼児教育を大切にしていた保育を実践している園、学習支援室(級)の役割の重要性、不登校生徒や障がいのある生徒への対応などの実態が浮かび上がった。</p> <p>また、懇談での教員の声にもあるが、全国的にも教職員の心理的・精神的負担が大きいといった勤務実態が報告されている。心のケアや教職員増などへの対応は予算との兼ね合いもあるが、職場環境の改善で負担軽減を図ることが、よりよい教育を子どもたちに保障することにもなることであろう。</p> <p>懇談での要望全てを満足させることは難しいであろうが、「今年はこちらに対応した」と学校や園に報告できるよう具体的な政策をもって学校や園に伝えていただきたい。</p>
<p>○学校・園への訪問は直面しているさまざまな問題を教育委員と学校関係者が共有できる最適な機会である。幼稚園・保育園、小学校そして中学校には児童生徒の発達段階による問題や課題の違いはあるが、現場を訪問して初めて理解が深まる。今年度は新型コロナウイルス感染症対策も一段落し、幼稚園・保育園訪問が2</p>	<p>○教育委員による学校訪問は、学校現場と教育委員双方にとって極めて重要なものである。教育委員会が正しい意思決定を行い、各学校の現状をきめ細かく聴き取ることは、教育委員自ら各学校現場の問題点を認識する上で不可欠である。</p> <p>特に、教員の働き方改革については、教員の</p>

<p>回、学校訪問が4回実施された。</p> <p>評価項目①については、昨年度から引き続き、ICT教育、カウンセリングなどの課題がある。タブレット端末の活用、特別支援や個別対応など課題は山積し、これらに関する解決はなかなか難しい。評価「B」は致し方ない。</p> <p>評価項目②について、評価「B」ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策のためのさまざまな補助金の活用など工夫が見られる。このような状況の中で教育委員会の努力は十分に評価できる。</p> <p>総合評価に関しては、学校現場が抱える問題は多岐にわたる。これらを迅速かつ適切に解決することは難しい。評価「B」は致し方ない。</p>	<p>勤務時間の把握、心身面への配慮等が重要になる。また、地球温暖化による体育館の空調施設など学校環境の整備など喫緊の課題もある。「コミュニティ・スクール」などとも連携を取りながら、各園、各学校が抱えている問題を共有し、学校運営を町全体でサポートする体制を整備していただきたい。</p>
--	---

(5) 訪問 (行事等)

内部評価の妥当性について	指導・助言
<p>○学校や園をあげて取り組んでいる行事に教育委員として参加できないことは、新型コロナウイルス感染症予防対策のための方策とはいえ、残念である。しかし、その意義は十分理解しているとのことなので次年度に期待したい。</p> <p>評価項目①については、参加できなかったこともあり、評価「B」はやむを得ない。</p> <p>評価項目②については、事務局からの報告があったとはいえ行事を通して、直接認識や理解を深めることができなかつたのであるから、評価「B」は妥当である。</p> <p>「総合評価」は、町全体で子どもたちの成長、安心・安全を見守る様子がみてとれる。新たに始まったコミュニティ・スクールの成果をもとに、大磯らしい教育環境の確立を期待し、評価「B」は妥当と考える。</p> <p>○各学校や各園にとって、授業だけでなく年間のさまざまな行事は児童生徒の発達上、非常に重要な活動である。児童生徒の日常の授業や活動だけからは見えにくい人格的成長を見ることができる。教育委員の各学校・園への行事訪問は児童生徒の成長を目の当たりにすること</p>	<p>○子どもたちにとって、行事は年間を通して最も期待される大切なイベントである。コロナ禍が収束した折には、教育委員にはぜひ行事に参加して子どもたちのわくわくする姿、1年間の集大成の姿を参観してほしい。いつもとは違った子どもたちや教職員の姿を見るのに絶好の機会であると思う。</p> <p>また、新たに始まったコミュニティ・スクールの十分活用し、大磯らしい教育の創造を目指すとともに、自然を含めた町の教育財産を生かした生涯教育の充実に取り組んでほしい。</p> <p>○令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策という限られた状況のなかでの実施であった。教育委員による学校教育だけでなく、生涯教育にかかわる行事への参加は非常に重要である。次年度に向けて積極的に取り組みを継続していただきたい。</p>

<p>ができ、教育行政を執行するために非常に有意義である。しかし今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、さまざまな行事等の訪問を十分に実施できなかった。</p> <p>それゆえ、評価項目①や評価項目②の評価がともに「B」であることは致し方ない。</p> <p>総合評価についても、評価「B」であることは致し方ない。限られた状況のなかで、訪問に取り組まれた。引き続き大磯町の教育行政の充実のために努力していただきたい。</p>	<p>全国に誇れる自然環境をもつ大磯町。大磯の子どもたちの成長、そしてまた町民の生涯教育という視点を持った教育行政の充実を目指し、地域住民との協力を通して教育環境のさらなる充実を目指していくことを願っている。</p>
---	--

## Ⅱ 「令和4年度教育委員会基本方針」についての点検・評価

### 1 学校教育

#### 《基本方針》

幼稚園においては、「遊びを中心にさまざまな経験を通じて、家庭や地域ではぐくまれてきた「生きる力」の基礎を確立する」ことを基本方針とします。

また、小中学校においては、学習指導要領における「生きる力」の理念や『大磯町第五次総合計画』の「柱Ⅳ 心豊かな人を育むまちづくり」に掲げる「次世代を担う人づくりの推進」の趣旨を踏まえるとともに、教育大綱の基本方針である、人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ教育と、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりの実現を目指します。

#### 《目標》

1. 幼稚園では、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、保護者や地域の方々の協力体制を築く中で、心豊かでたくましい園児の育成を目指します。
2. 幼稚園と保育所の交流を深め、就学前児童の育成を見据えた中で、幼保連携を推進します。
3. 各小・中学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切な教育課程を編成し、保護者や地域に信頼され開かれた学校づくりや大磯らしい特色ある学校づくりに努めるとともに、人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ教育を目指します。
4. 学校、保護者、地域の方々と諸課題を共有しつつ協力体制を築き、大磯らしい美しい自然と由緒ある歴史・文化を大切にする教育を目指して教育活動の展開を図ります。
5. 教職員としての使命の自覚や教職員としての力量を高めるために、教育研究所機能も活用し、研究・研修の機会や場を拡充します。さらに、異校種間連携や他市町村との広域的人事交流も推進します。

#### (1) 重点施策の中で、特に重要課題と捉えた施策

- ① 町立幼稚園における預かり保育の拡充
- ② 大磯幼稚園の認定こども園化
- ③ 職員の研究・研修
- ④ いじめ問題への対応
- ⑤ コミュニティ・スクールの導入
- ⑥ 部活動等の在り方
- ⑦ 中学校昼食支援
- ⑧ 小学校給食調理業務の民間委託
- ⑨ 学校施設環境整備の推進
- ⑩ 教育研究所における教育相談体制の充実

## (2) 課題別点検評価

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

### ① 町立幼稚園における預かり保育の拡充

幼児教育・保育の無償化に伴う、保育ニーズの変化に注視しながら、町立幼稚園における預かり保育を週3日から週5日実施に拡充し、子育て支援を推進します。

実施状況	成果	評価	課題
保護者の保育ニーズに対応し、町立幼稚園における預かり保育の実施回数を週3日から週5日に拡充した。	町立幼稚園2園の預かり保育の1回当たりの利用者数が、令和3年度の6.5人から令和4年度は10.3人となり、3.8人増加した。	A	今後も増加が見込まれる保育ニーズに対応するため、さらなる預かり保育の拡充について検討していくとともに、担当する職員(保育士・幼稚園教諭)の確保に努めていく必要がある。

### ② 大磯幼稚園の認定こども園化

『第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン』に基づき、令和6年度開園を目指し、大磯幼稚園の民営による公私連携幼保連携型認定こども園化について進めていきます。

実施状況	成果	評価	課題
公の施設としての役割を踏まえ、大磯幼稚園を町立の幼保連携型認定こども園へ移行する形に方針転換を行った。	地域における町立園の役割の重要性を再認識するとともに、町立認定こども園整備に向けた事業スケジュール等を検討した。 また、施設の整備については認定こども園に必要な機能の追加を優先することとし、老朽化に対する整備等については、引き続き保護者や関係機関と調整を図っていく。 なお、事業の方向性について周知が足りていない部分もあるため、情報発信を進めていく。	C	計画どおり、令和6年度には待機児童がゼロとなるように事業を進めていく必要がある。 また、認定こども園開園までの期間において、保育ニーズに対応するサービスの提供について具現化するとともに、保護者の方が不安にならないよう、事業の進捗等の情報発信に努めていく必要がある。

### ③ 職員の研究・研修

児童・生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うため、引き続き町立学校全校において、「大磯学びづくり推進研究事業」に基づく授業の改善・充実及び学習評価の妥当性・信頼性の向上に向けた研究・研修を行い、教師の指導力向上、児童・生徒の学力向上を目指します。また、体罰防止や安全管理及び教員の事故・不祥事防止に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>大磯学びづくり推進研究事業を継続し、2小学校2中学校で実践研究に取り組んだ。各校の校内研究テーマを生かしながら、実践研究や研修を実施することができた。</p> <p>学校長等の経営者会議や教頭会等の場で事故・不祥事防止について情報提供することを通じて、教員への周知に努めた。</p>	<p>学びづくり担当者会での共有や校内研究会の相互訪問等を通じて、各校が取り組んでいる研究・研修の成果を、町全体で共有することができた。</p>	C	<p>新型コロナウイルス感染症への対応や学校の働き方改革との兼ね合いなどの結果、研修等の在り方が大きく変わったことで、必要な内容が正しく伝わっていない状況が見られる。</p> <p>研究や研修の方法等については、引き続き検討を重ねていく必要がある。</p>

### ④ いじめ問題への対応

『大磯町いじめ防止対策基本方針』に基づくいじめ問題への取組を着実に進めます。引き続き、いじめ防止のための研修を進めると共に、スクールロイヤーとの連携を図りながら、重大事態の対応及び再発防止に取り組めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>大磯町いじめ問題対策・調査委員会を年2回開催し、町及び学校のいじめ防止に関する取り組みを協議し、取り組みの改善に結びつけた。</p> <p>各校の児童・生徒指導を担当する教員に対して「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめ定義の理解及び認知について周知するとともに、担当教員を通じて全教職員へ周知を図った。</p>	<p>大磯町いじめ問題対策・調査委員会で協議した内容を各校へ還元し、いじめ防止に関する取組について周知を図った。</p> <p>スクールロイヤーの配置等により、いじめ問題に対して法に基づく対応を学校へ意識付けした。</p>	C	<p>いじめの認知に係る各教員の認識の違いの解消に向けて周知を続けてきたが、経験の浅い教員が増え、学校でのOJTでは対応しきれない現状が出てきている。教員経験5年目までの研修会等の機会を利用するなど、法に基づくいじめの定義等について、教員に対してさらに周知していく必要がある。</p> <p>保護者や地域に対して発信する機会を増やし、いじめ対応について理解を求めていく必要がある。</p>

### ⑤ コミュニティ・スクールの導入

開かれた学校づくりを通じ、学校とPTA・地域・関係諸機関との協働・連携を図り、地域の教育力を活かす学習活動を行うとともに、地震や津波などに対する防災対策や防犯・安全体制の一層の強化に努めます。新学習指導要領にある社会に開かれた教育課程の実現に向けて、各学校に学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、地域とともにある学校を目指します。

実施状況	成果	評価	課題
<p>生沢分校を除く、全ての町立園・学校に対して学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールの指定を行った。</p> <p>各中学校区で研修会を実施し、学校運営協議会委員が自身の役割や責任について正しい理解を得る企画を設けた。</p>	<p>各園・学校で学校運営協議会を開催し、園・学校が抱える諸課題について協議を進めることができた。</p> <p>教員だけでなく、保護者や地域の方が委員となっているため、それぞれが当事者意識をもって、会議に参加することができた。</p>	B	<p>学校の状況や抱える課題等について、学校運営協議会委員と共有する時間は増えたが、具体的な解決策やその実施について、委員以外の保護者や地域をどのように巻き込んでいくかを考えていく必要がある。</p>

### ⑥ 部活動等の在り方

平成31年3月に策定した『大磯町立学校に係る部活動の方針』を基に、部活動等の在り方についてさらに研究します。

実施状況	成果	評価	課題
<p>国が進める部活動地域移行への方向性を踏まえ、今後の部活動等の在り方について、学校関係者を中心に部活動検討会を開催し、大磯町ならではの部活動の在り方について検討を重ね、考え方を共有した。</p> <p>県の地域部活動推進事業を活用し、地域移行への可能性等について検証した。</p>	<p>学校部活動の在り方を残したまま、地域の人材を指導者として派遣する「大磯式部活動」の方向性を示すことができた。</p> <p>町で実績のある地域クラブと連携し、県事業に基づく検証を進めることができた。</p>	C	<p>「大磯式部活動」の考え方やそれに伴う具体的な方策等について、地域でスポーツ振興に携わる方々や保護者等への説明を丁寧に行い、実現に向けて細部を調整する必要がある。</p>

## ⑦ 中学校昼食支援

中学校給食の再開までの間、昼食を支援するため、希望者に対するお弁当の販売を引き続き実施してまいります。また、令和4年度から、追加事業として、生徒に対する試食の機会の提供やコロナ禍における保護者の経済的負担を軽減するため、昼食費の補助を実施します。

実施状況	成果	評価	課題
<p>給食再開までの暫定的な措置として、家庭の状況により弁当を持参することが難しい場合に、栄養バランスに配慮した希望注文制弁当の提供を実施した。</p> <p>また、希望注文制弁当を知っていただくため、全校生徒に試食の機会を提供すると共に、昼食費の補助を実施した。</p>	<p>希望注文制弁当の提供により、家庭から弁当を持参することが難しい生徒への対応を図ることができた。</p> <p>昼食費補助の実施により、コロナ禍における保護者の経済的負担を軽減できた。</p>	B	<p>中学校給食については、自校方式と決定してはいるものの、施設の建設に際しては、老朽化対策と合わせた検討が必要である。</p> <p>引き続き、家庭から弁当を持参することが難しい生徒への対応を図っていく必要がある。</p>

## ⑧ 小学校給食調理業務の民間委託

小学校給食が継続的かつ安全衛生的に調理できるよう、国府小学校において、令和4年度から給食調理業務の民間事業者への委託を開始します。また、給食費については、令和4年度から食材価格の上昇や授業実施回数の増加に伴い、改定を行います。この給食費の改定に伴い、コロナ禍における保護者の経済的負担を軽減するため、改定分の緊急的な補助を実施します。

実施状況	成果	評価	課題
<p>令和3年度までは、小学校における給食調理は、町で直接雇用した任期付職員及び会計年度任用職員が行ってきたが、安定的に人員を確保できない状況にあった。</p> <p>令和4年度から、国府小学校において、プロポーザルにより選定した民間事業者に給食調理等業務の委託を開始した。契約期間は令和6年度までの3年間である。</p>	<p>給食調理業務等を民間委託することで、安定的に人員が確保できた。</p> <p>栄養教諭においては、引き続き献立の立案は行うが、調理員の欠勤時に代替で作業に入ることがなくなり、児童等への栄養授業など本来業務に専念することができている。</p>	A	<p>大磯小学校においては、令和7年度に同委託を導入する予定でいるが、給食調理員の欠員により、人員不足がひっ迫した状況にある。</p> <p>様々な手段を講じ、給食調理員の確保に努めているが、給食提供に支障が生じる恐れがあることから、令和6年度に前倒して委託事業を導入することを検討する必要がある。</p>

### ⑨ 学校施設環境整備の推進

安全・安心な学校施設環境整備を推進するため、『長寿命化計画』に基づき、計画的な学校施設の点検・修繕を実施していく中で、緊急的な課題である小学校給食調理室への空調設備を整備し、給食調理場の環境改善を図ると共に、心身の健全な発達と食育を推進する学校給食の安定的な提供に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>学校の空調設備については、令和元年度に普通教室及び一部の特別教室に整備した。</p> <p>しかし、火気を伴う小学校給食調理室において、空調設備が未設置であることは労働環境上も看過できない状況であったことから、両小学校給食調理室への整備を行った。</p>	<p>給食調理室内の温度が一定に保たれることで、給食調理員の体調管理、及び食品の衛生管理を向上することができた。</p>	B	<p>空調設備が未整備の特別教室や体育館に対しても、整備の必要性がある。</p> <p>大磯町教育施設等長寿命化計画、及び令和5年度策定予定の学校教育施設整備基本構想に基づき、計画的な整備を図っていく必要がある。</p>

### ⑩ 教育研究所における教育相談体制の充実

教育研究所に配置しているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや専任教諭により、生活面や学習面で発達の・心理的・情緒的な問題を抱えている子どもたちに対する支援を行い、その保護者と関係教職員に対する教育相談等を行います。

実施状況	成果	評価	課題
<p>いじめ、不登校をはじめとする様々な教育課題に対応するため、教育研究所にスクールカウンセラー（SC）1名・チーフスクールソーシャルワーカー（SSW）1名・教育指導員2名・教育支援室専任教諭1名をそれぞれ配置した。</p> <p>いじめ等をはじめとする学校課題に対して法的に対応するため、スクールロイヤー（SL）1名を配置した。</p>	<p>SC及びSSWの勤務日数を確保し、学校や保護者からの要請に従い、各種相談に対応することができた。</p> <p>SLの配置により、法的な側面から適切な助言を学校が受けられることができた。</p>	B	<p>SCやSSWへの相談件数が増加したため、同時期に件数が増えると、SCやSSWが対応する時間の確保が難しくなる。</p> <p>安定した相談体制を整えるためには、専門職の配置数や対応できる時間を増やすなどのさらなる対策が必要と考える。</p>

## 2 生涯学習

### 《基本方針》

「生涯学習推進計画」のもと、先人から引き継いだ伝統行事や文化財など文化資源に愛着と誇りを持ち、次世代への継承を支援し、新たな文化の創造を推進します。また、町民一人ひとりが生涯にわたって、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択し、自らが得た知識を地域に活かす生涯学習社会の実現を目指します。

### 《目標》

1. 町民のだれもが豊かに生きるための様々な学びを把握し、支援するとともに、学習情報を積極的に発信し、学びを地域に活かすことができる生涯学習のまちづくりを進めます。
2. 生涯にわたってともに学びあうことで、コミュニティが充実し、人と人とのつながりが強くなる生涯学習のまちづくりを進めます。
3. 広く生涯学習の情報を集め、希望する情報をすぐに提供できる生涯学習のまちづくりを進めます。

### (1) 重点施策の中で、特に重要課題と捉えた施策

- ① 大磯町第三次生涯学習推進計画の適正な進行管理
- ② 青少年健全育成活動の推進
- ③ 生涯学習の推進と学習団体への支援
- ④ 明治記念大磯邸園整備事業における文化財保護の観点から国・県との連携
- ⑤ 人権啓発活動の推進

### (2) 課題別点検評価

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

#### ① 大磯町第三次生涯学習推進計画の適正な進行管理

大磯町第三次生涯学習推進計画の適正な進行管理を行い、計画の実現性を高めます。

実施状況	成果	評価	課題
第三次生涯学習推進計画の進捗管理・評価を行った。また、課題等の把握を行った。 社会教育委員会議により、年3回の進行管理を行った。	社会教育委員会議において、計画の進行管理として定期的に生涯学習事業の点検・評価を行った。 町民の学習ニーズを把握し、施策に反映できるよう、講座の受講者に対してアンケートを行った。各講座の満足度は86%以上を得ることができた。 適切に学習ニーズを把握し、ライフステージに応じた多様な学習の機会を提供することができた。	B	第三次生涯学習推進計画の進行管理について、目標値に達していない理由を検証するなど、更に事業計画の実現性を高める必要がある。

## ② 青少年健全育成活動の推進

青少年指導員、PTA連絡協議会、その他関係団体と連携を図り、青少年の健全育成に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>青少年指導員連絡協議会と連携して諸活動の計画・運営を行った。</p> <p>学校、青少年関係団体、行政関係課職員で構成される青少年健全育成連絡会を開催した。</p>	<p>青少年指導員連絡協議会は総会1回、定例会11回を開催した。定例会の開催は前年度との比較で3回増となり、実施事業の詳細な検討や、指導員相互の情報共有を図ることができた。</p> <p>青少年指導員連絡協議会の自主事業として、ナイトハイク&amp;ミュージアムとデイキャンプを開催した。</p> <p>青少年健全育成連絡会の開催により、学校、青少年関係団体、行政関係課の間で、連絡調整、情報交換をすることができた。</p>	B	<p>単位子ども会の団体数が減り、新たな子どもたちの体験の場が求められ、青少年指導員の活動が重要となっている。引き続き、定例会の開催により、青少年指導員相互の連携を深めるとともに、青少年指導員連絡協議会の活動の充実を図るため、あらたな青少年指導員を募集する必要がある。</p>

## ③ 生涯学習の推進と学習団体への支援

「生涯学習人材登録」や県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」を活用した講座を開催するとともに、町民の主体的・自主的な活動を支援するための生涯学習情報の収集と提供に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>青少年おもしろ講座、ファミリー教室、おおいそシニア教室、OISO学び塾等各種講座を開催した。</p> <p>生涯学習人材登録の更新と講座等の企画を募った。</p> <p>生涯学習館でのオンライン講座に対応できるよう、機材の整備を行った。</p> <p>町広報にOISOまなびバンクの紹介記事を掲載した。</p> <p>町生涯学習団体主催の講座について、町広報により情報を提供した。</p>	<p>コロナ禍において、感染症対策を行いながら、ライフステージ・ライフスタイルに応じた学習機会と、豊かな心・生きがいを支える学習機会の提供に努めた。</p> <p>年間で20講座を開催し、参加人数は延べ291人であった。開催した講座数は前年度と比較して4回増、また、オンラインでの講座を3回実施したことで、講座に参加する機会を増やすことができた。</p> <p>OISOまなびバンクの紹介や、町生涯学習団体との連携により、町民の主体的な活動につながる学びの機会</p>	B	<p>オンラインで受講可能な講座を引き続き開催し、ライフスタイルに応じた学習機会を提供するとともに、オンライン講座の周知を図っていく必要がある。</p> <p>講座等の生涯学習情報の提供については、周知方法を拡充していただきたい。</p>

	の情報を提供することができた。	
--	-----------------	--

#### ④ 明治記念大磯邸園整備事業における文化財保護の観点から国・県との連携

明治記念大磯邸園整備事業について、文化財保護の観点から国・県との連携を図ります。

実施状況	成果	評価	課題
明治記念大磯邸園の構成建造物の保存、活用について、国、県と情報を共有し、課題の整理に努めた。	旧滄浪閣、旧池田成彬別邸（西園寺公望別邸跡）の邸宅整備計画について、文化財保護の観点から意見し、整備事業を前進させた。 旧大隈重信別邸、旧古河別邸（陸奥宗光別邸跡）の基礎整備工事で出現した埋設物を確認し、今後の埋設物の保存方針を確定させた。	A	令和7年度中の公開に向けて建造物の保存と活用を図るため、引き続き国・県と綿密に調整を進めていただきたい。

#### ⑤ 人権啓発活動の推進

誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、身近な問題として人権意識を高める人権教育講演会を開催し、人権への理解を深めます。

実施状況	成果	評価	課題
人権担当の社会教育指導員を1名配置した。 年間を通して、人権研修に参加した。 町民向けの人権教育講演会を集会とオンライン併用で開催した。 新採用職員向け人権研修会を行った。	各人権研修に18回参加し、積極的に情報収集を行うとともに、関係機関等へ情報を提供し、啓発に努めた。 町民向けの講演会についてはオンライン併用としたことで、参加の機会を増やすことができた。 人権担当の社会教育指導員が大磯町役場の新採用職員を対象に人権研修を実施し、人権意識を向上することができた。	A	町民を対象とした講演会において、オンライン併用での開催により、参加の機会を増やしたことは評価できる。 今後も人権意識の向上、学習機会の増加、情報の周知・啓発の方法について拡充していただきたい。

### **3 図書館**

#### **《基本方針》**

乳幼児から高齢者まであらゆる世代が豊かな心を養えるよう、興味や関心を満たす機会を提供する場とし、町民の学習活動の拠点となる「町民の書齋としての図書館」を目指して、図書館利用サービスの向上を推進するとともに、生涯学習の充実に向けた支援に努めます。

#### **《目標》**

1. 多様化する町民ニーズに応える、親しみの持てる施設として図書館が活用されるよう、レファレンスサービス(\*)に力を入れ、読書環境の整備に努めます。
2. 学校図書館と連携し、子どもたちの本との出会いが自主的な読書活動に繋がるよう支援します。
3. まちづくりなど、地域の課題解決に必要な郷土・地域資料の収集・提供に努め、町民の自主的な生涯学習活動を支援します。
4. 生涯学習の拠点として快適な環境を提供するため、老朽化した施設・設備の改善を計画的に進めます。

#### **(1) 重点施策の中で、特に重要課題と捉えた施策**

- ① 図書館利用の普及
- ② 子ども読書活動の推進
- ③ ホームページの活用

(2) 課題別点検評価

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

① 図書館利用の普及

「大磯町立図書館サービス計画（附）第四次大磯町子ども読書活動推進計画」（以下、「計画」という。）に基づき、図書館利用の普及に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>人口1人当たりの個人貸出数（点）（*1）</p> <p>人口1人当たりの入館者数（回）（*2）</p> <p>図書館の0歳から18歳までの人口1人当たりの個人貸出数（冊）（*3）</p> <p>学校図書館の児童・生徒1人当たりの貸出数（冊）（*4）</p> <p>学校図書館蔵書更新率（%）（*5）</p>	<p>人口31,262人に対し、貸出数は145,341点であり1人当たりの貸出数は4.64点であった。</p> <p>人口31,262人に対し、入館者は133,050人であり、1人当たりの入館者数は4.25回であった。</p> <p>0歳から18歳までの人口4,545人に対し、児童書の貸出数は40,069冊で1人当たりの個人貸出数は8.81冊であった。</p> <p>小中4校の児童・生徒数は2,283人に対し、貸出数は25,101冊であり1人当たりの貸出数は11.0冊であった。</p> <p>小中4校の蔵書数41,882冊に対し受入・廃棄数は4,225冊で蔵書更新率は10.09%であった。</p>	<p>B</p>	<p>*1計画の目標値は6.11点以上</p> <p>*2計画の目標値は5.87回以上であり、令和3年度に比して微増しているが、いずれも目標値を下回ったので、少しでも数値が上がるようにさらに創意工夫する必要がある。</p> <p>*3計画の目標値は11.1冊以上であり、令和3年度に比して減少しているため、テーマ別展示に多様性を持たせるなど幅広く本の紹介に努める必要がある。</p> <p>*4計画の目標値は11.0冊以上であったので目標を達成できた。さらに学校図書館行事の充実を図る必要がある。</p> <p>*5計画の目標値は7.3%であり除籍を積極的に行った成果が現れた。引き続き新刊の受入れと除籍を効率的に行っていく必要がある。</p>

## ② 子ども読書活動の推進

学校図書館と情報を共有し、ブックリストの作成、授業支援のための本の貸出しをするとともに、保育所・幼稚園等と連携し、子どもたちの読書・学習環境の整備に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>学校図書館設置のパソコン・プリンタ及び管理ソフトウェアの更新を行い、学校図書館運営の効率化を図った。</p> <p>授業支援及び幼稚園・保育所等の読書環境を整えるため、団体貸し出しを行った。</p>	<p>小中4校の学校図書館の総貸出数は25,101冊であった。</p> <p>各校園等への団体貸出しは1,786冊であった。</p>	B	<p>学校司書や教諭をはじめとする学校及び幼稚園・保育所等との連携をさらに進める必要がある。</p>

## ③ ホームページの活用

ホームページを活用し、郷土資料の公開や、図書館資料のテーマ別展示・紹介、レファレンスサービスの回答集の作成など、図書館情報の発信に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>電子図書館の運営。</p> <p>所蔵図書館資料を紹介する「大磯ふるさと往還」を更新した。</p> <p>おすすめの本を逐次更新した。</p>	<p>登録者は10,247人。貸出数は1,139タイトルであった。</p> <p>鳴立庵をテーマにした所蔵図書館資料の紹介を行った。</p> <p>通年実施している「読書スタンプラリー」や毎月実施する「話題の本」、「懐かしの本」などを逐次更新した。</p>	B	<p>電子図書館については各分野の利用状況を参考にして、電子書籍の選定をしていく必要がある。</p> <p>資料の紹介が必ずしも貸出しに結びついていないので、更新頻度やテーマ設定の調査・研究をする必要がある。</p>

## 4 郷土資料館

### 《基本方針》

令和4年度に策定した大磯町郷土資料館運営基本方針に基づき、「湘南の丘陵と海」のテーマのもと、博物館資料の収集、保管、展示、調査研究を進めるとともに、地域住民をはじめとした博物館利用者と連携した活動を目指します。

### 《目標》

博物館サービスを向上させ、利用者にとって魅力があり、利用しやすい施設運営を目指します。

### (1) 重点施策の中で、特に重要課題と捉えた施策

- ① 新たな吉田茂関連製品の開発
- ② 近現代史を中心とした大磯の歴史を解説した冊子の作成
- ③ 空調設備の更新等による施設の適正な維持管理

### (2) 課題別点検評価

満足 A 概ね満足 B 努力が必要 C

#### ① 新たな吉田茂関連製品の開発

新たな吉田茂関連製品の開発等により、旧吉田茂邸の魅力を高め、観覧者へのサービス向上に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
旧吉田茂邸の開館5周年を記念して、新たな吉田茂関連製品を開発し、かねてより観覧者から要望をいただいていた販売製品の種類数の増加に対応した。	清水崑画の著作権者の協力のもと、吉田茂の風刺画をプリントしたトートバック、ガラス根付、ガラスチャームを製作した。 旧吉田茂邸に展示している和食器の販売元にご協力いただき、和食器の図柄をプリントしたてぬぐいを製作した。	A	吉田茂関連製品の販売数に注視し、PR方法を含め今後の対応について検討していく必要がある。 今後の製品製作の基礎資料として、売れ行きのよい製品の傾向を読み取り、整理しておく必要がある。

#### ② 近現代史を中心とした大磯の歴史を解説した冊子の作成

児童・生徒が郷土をより良く理解するために、近現代史を中心とした大磯の歴史を分かりやすく解説した冊子を作成します。

実施状況	成果	評価	課題
子ども基金の寄附者の意向に沿い、明治150年記念冊子「未来へつなぐ想い～わたしたちの大磯の歴史」を作成した。	多くの本町ゆかりの著名人の協力のもと、愛着や誇りといった郷土愛を醸成する冊子を作成した。 本町の特徴といえる近現代史を一冊で概観できる冊子を作成した。 小学校、中学校の授業等に活用できるように冊子を図書室に配架した。	A	学校での利用状況を把握し、必要に応じて児童、生徒の利用の仕方について学校に支援していく必要がある。 冊子の販売数に注視し、PR方法や販売の場所、方法を検討していく必要がある。

③ 空調設備の更新等による施設の適正な維持管理

老朽化した空調設備を更新することにより、施設の適正な維持管理に努めます。

実施状況	成果	評価	課題
<p>経年劣化により不具合が生じている空調設備を更新するため、第2期空調設備改修工事を行った。</p> <p>また、所蔵資料をより良い状態で保存するため、収蔵庫として使用している東蔵の燻蒸を実施した。</p>	<p>廻廊・休憩室系統及び企画展示室系統の空調設備を更新した。</p> <p>東蔵について燻蒸を行い、虫害を予防した。</p>	<p>A</p>	<p>更新後の空調設備の作動状況に注視し、観覧者が快適に利用できる施設運営に努めていただきたい。</p> <p>燻蒸には予算が伴うが、所蔵資料の保存活用のために、計画的に実施していく必要がある。</p>

## Ⅲ 資料編

### 1 関係法令

#### (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第27条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について（通知）（抜粋）

（19文科初第535号 平成19年7月31日 文部科学事務次官通知）

##### 第一 改正法の概要

##### 1 教育委員会の責任体制の明確化

##### (3) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととしたこと。点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有するものの知見の活用を図ることとしたこと。（法第27条）

##### 第二 留意事項

##### 1 教育委員会の責任体制の明確化

- ① 今回の改正は、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨から行うものであること。
- ② 現在、すでに各教育委員会において、教育に関する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を議会に報告するなどの取り組みを行っている場合は、その手法を活用しつつ、適切に対応すること。
- ③ 点検及び評価を行う際、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることについては、点検及び評価の客観性を確保するためのものであることを踏まえ、例えば、点検及び評価の方法や結果について学識経験者からの意見を聴取する機会を設けるなど、各教育委員会の判断で適切に対応すること。

### 2 「教育委員会定例会議事録」掲載ホームページアドレス

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/kosodate/kyouikuiinkai/kyoikuiinkaiteireikai/index.html>

### 3 令和4年度 教育委員会基本方針

令和4年3月24日大磯町教育委員会第12回定例会で決定

大磯町教育委員会では、教育委員会の活動に対し、自らの点検・評価及び外部評価を実施し、その責任体制の明確化や体制の充実を図るとともに、地方教育行政の推進に努めてまいりました。

こうした中、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日に施行され、新しい教育委員会制度がスタートしました。町では法律の趣旨に則り、町長と教育委員会をもって構成する総合教育会議において、「いのち」「こころ」（～自らの可能性を求め、新しい時代を心豊かに生きる人づくり～）を基本理念とする『大磯町教育大綱（以下、「教育大綱」という。）』を策定しています。

大磯町教育委員会では、教育大綱に則り、大磯の教育ビジョンを策定してまいります。また、教育大綱を尊重し、「いのち」と「こころ」を輝かせる3つの力、すなわち「知力」（自らの可能性を広げる基盤となる、知的好奇心をはぐくみます）、「体力」（新しい時代をたくましく生きる原動力となる、心身の健康をはぐくみます）、「共感力」（伝え合い、理解し合い、相手を思いやる心につながる、人や自然への優しさをはぐくみます）の育成を行い、目指す子ども像に向かって教育行政の推進に努めてまいります。

大磯町教育委員会が所管する学校教育施設、子育て支援施設及び社会教育施設（以下、「教育施設等」という。）は、公共施設全体の約半数の割合を占めており、その約3割は築40年を経過していることから、令和3年6月に『大磯町教育施設等長寿命化計画（以下、「長寿命化計画」という。）』を策定しました。今後、同計画に基づき、特定の年度に予算が集中しないよう、計画的に教育施設等の改修や改築を進めてまいります。

#### 《学校教育の基本方針》

幼稚園においては、「遊びを中心にさまざまな経験を通じて、家庭や地域ではぐくまれてきた「生きる力」の基礎を確立する」ことを基本方針とします。

また、小中学校においては、学習指導要領における「生きる力」の理念や『大磯町第五次総合計画』の「柱Ⅳ 心豊かな人を育むまちづくり」に掲げる「次世代を担う人づくりの推進」の趣旨を踏まえるとともに、教育大綱の基本方針である、人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ教育と、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりの実現を目指します。

#### 【目標】

1. 幼稚園では、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、保護者や地域の方々の協力体制を築く中で、心豊かでたくましい園児の育成を目指します。
2. 幼稚園と保育所の交流を深め、就学前児童の育成を見据えた中で、幼保連携を推進します。
3. 各小・中学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、適切な教育課程を編成し、保護者や地域に信頼され開かれた学校づくりや大磯らしい特色ある学校づくりに努めるとともに、人と人との関わりの中で、確かな学力・健やかな体・豊かな心をはぐくむ教育を目指します。
4. 学校、保護者、地域の方々と諸課題を共有しつつ協力体制を築き、大磯らしい美しい自然と由緒ある歴史・文化を大切にする教育を目指して教育活動の展開を図ります。

5. 教職員としての使命の自覚や教職員としての力量を高めるために、教育研究所機能も活用し、研究・研修の機会や場を拡充します。さらに、異校種間連携や他市町村との広域的な人事交流も推進します。

## 〔重点施策〕

### 1. 幼稚園

- (1) 幼児期の早い段階に集団生活の中で多くの経験を共有することは幼児の自発的な行動を促すことにつながるため、町立幼稚園において実施してきた満3歳児を対象とした保育事業を継続実施します。
- (2) 幼児教育・保育の無償化に伴う、保育ニーズの変化に注視しながら、町立幼稚園における預かり保育を週3日から週5日実施に拡充し、子育て支援を推進します。
- (3) 『第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン』に基づき、令和6年度開園を目指し、大磯幼稚園の民営による公私連携幼保連携型認定こども園化について進めていきます。
- (4) 子ども発達相談員（臨床心理士）が町内の幼稚園・保育園・認定こども園等を巡回して実施している相談事業については就学前後の移行期においても情報連携を強化していきます。
- (5) 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）（\*）を導入し、幼稚園運営に対する保護者や地域住民の参加を進め、特色のある園づくりを推進します。

### 2. 小学校・中学校

- (1) 小学校低学年を基本として35人以下学級編制を実施します。また、小学校中・高学年及び中学校における児童生徒指導及び進路指導等の課題に対応するため、必要に応じ、35人以下学級編制の実施を支援します。
- (2) 各学校において、ティームティーチング（\*）や少人数指導等、指導方法の工夫改善の研究に努めます。
- (3) 幼児・児童・生徒の連続的な学びと成長を図るため、幼稚園・保育所と小学校及び小学校と中学校の連携を継続して進めます。
- (4) 児童・生徒が基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うため、引き続き町立学校全校において、「大磯学びづくり推進研究事業」に基づく授業の改善・充実及び学習評価の妥当性・信頼性の向上に向けた研究・研修を行い、教師の指導力向上、児童・生徒の学力向上を目指します。また、体罰防止や安全管理及び教員の事故・不祥事防止に努めます。
- (5) GIGAスクール構想（\*）に基づき、児童・生徒に1人1台の整備が完了したタブレットPCや大型提示装置等のICT（\*）関連機器の活用に向けた研修等の工夫・改善に努めるとともに、ICT教育の推進を積極的に実践できるような支援を行います。
- (6) 各学校における食育の推進のため、大磯町で策定した「けんこうプラン大磯」と各学校における『食育の全体計画・食育の年間計』を基に、栄養教諭による小・中学校への情報提供や授業支援などのサポート体制も活用し、食に関する指導を積極的に実践します。
- (7) 県のインクルーシブ教育（\*）の方針を踏まえ、町として障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが共に学びあう教育を推進し、互いを理解しながら、社会性や思いやりの

こころを育みます。

- (8) 支援を必要とする児童・生徒に対して教育支援員(\*)の配置を充実させるとともに、個別的な学習支援に対応するため、指導協力員(\*)の配置を進め、児童・生徒に対する支援体制の一層の強化を図ります。また、県立特別支援学校のセンター的機能を活用し、支援教育を推進します。
- (9) いじめ・不登校・虐待をはじめとする様々な課題に対応するため、児童・生徒指導担当主事を中心に、スクールカウンセラー(\*)やスクールソーシャルワーカー(\*)と連携し、各学校の教育相談コーディネーター、心の教室相談員などの相談支援体制を充実させ、教育相談及び児童生徒指導体制を図ります。
- (10) 『大磯町いじめ防止対策基本方針』に基づくいじめ問題への取組を着実に進めます。引き続き、いじめ防止の研修を進めると共に、スクールロイヤー(\*)との連携を図りながら、重大事態の対応及び再発防止に取り組めます。
- (11) 読書活動の推進のため学校図書館司書を全校に配置し、学校図書館を子どもたちにとって親しみやすい場所にするるとともに調べ学習のニーズへの的確に応えられるようにします。また、子どもたちがより一層読書に親しむ機会と推奨すべき図書の提供に向け、学校図書館の機能を活用するとともに、大磯町立図書館との連携を図ります。
- (12) 開かれた学校づくりを通じ、学校とPTA・地域・関係諸機関との協働・連携を図り、地域の教育力を活かす学習活動を行うとともに、地震や津波などに対する防災対策や防犯・安全体制の一層の強化に努めます。新学習指導要領にある社会に開かれた教育課程の実現に向けて、各学校に学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、地域とともにある学校を目指します。
- (13) 児童・生徒の体力向上について、日常における外遊びの推奨や、『大磯町学校教育における子どもの体力向上に向けた取組指針』を基に、各学校の取組状況を検証し、引き続き特色ある取組を推進します。
- (14) 児童・生徒が安全・安心に施設の利用ができるようにするため、今後の児童生徒数や将来の財政状況を見据え、『長寿命化計画』に基づき、計画的に施設設備の修繕等を行います。
- (15) 新型コロナウイルスなどの感染症感染拡大防止対策に努めた教育を実施します。
- (16) 国の推進する働き方改革を受け、教職員の心身の健康やワーク・ライフ・バランスにかなげる、仕事効率の向上により、教職員が子どもと向き合う時間を確保する、職員の働きやすい職場環境の実現を推進するという趣旨と目的のもと、引き続き、働き方改革に取り組めます。
- (17) 平成31年3月に策定した『大磯町立学校に係る部活動の方針』を基に、部活動等の在り方についてさらに研究します。
- (18) 中学校給食の再開までの間、昼食を支援するため、希望者に対するお弁当の販売を引き続き実施してまいります。また、令和4年度から、追加事業として、生徒に対する試食の機会の提供やコロナ禍における保護者の経済的負担を軽減するため、昼食費の補助を実施します。
- (19) 小学校給食が継続的かつ安全衛生的に調理できるよう、国府小学校において、令和4年度から給食調理業務の民間事業者への委託を開始します。また、給食費については、令和4年度から食材価格の上昇や授業実施回数の増加に伴い、改定を行います。この給食費の

改定に伴い、コロナ禍における保護者の経済的負担を軽減するため、改定分の緊急的な補助を実施します。

- (20) 安全・安心な学校施設環境整備を推進するため、『長寿命化計画』に基づき、計画的な学校施設の点検・修繕を実施していく中で、緊急的な課題である小学校給食調理室への空調設備を整備し、給食調理場の環境改善を図ると共に、心身の健全な発達と食育を推進する学校給食の安定的な提供に努めます。

### 3. 教育研究所

- (1) 幼・小・中の連携の中核として、教職員の自主的な研修ならびに系統的・教科等横断的な授業研究のさらなる充実を図ります。
- (2) 教職員を対象に、ICT 教育などの教育課題に応じた研修の機会を設定するとともに、必要な支援を行い、教職員の資質向上・指導力向上を図ります。
- (3) 教育研究所に配置しているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや専任教諭により、生活面や学習面で発達の・心理的・情緒的な問題を抱えている子どもたちに対する支援を行い、その保護者と関係教職員に対する教育相談等を行います。
- (4) 教育研究の拠点となるよう書籍類、研究資料等の収集・整理を進め、活用を図ります。
- (5) 教育研究所においては、引き続き教職員が研修しやすい環境づくりに努めていきます。

### 《生涯学習の基本方針》

「生涯学習推進計画」のもと、先人から引き継いだ伝統行事や文化財など文化資源に愛着と誇りを持ち、次世代への継承を支援し、新たな文化の創造を推進します。また、町民一人ひとりが生涯にわたって、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択し、自らが得た知識を地域に活かす生涯学習社会の実現を目指します。

#### 〔目標〕

1. 町民のだれもが豊かに生きるための様々な学びを把握し、支援するとともに、学習情報を積極的に発信し、学びを地域に活かすことができる生涯学習のまちづくりを進めます。
2. 生涯にわたってともに学びあうことで、コミュニティが充実し、人と人とのつながりが強くなる生涯学習のまちづくりを進めます。
3. 広く生涯学習の情報を集め、希望する情報をすぐに提供できる生涯学習のまちづくりを進めます。

#### 〔重点施策〕

1. 大磯町第三次生涯学習推進計画の適正な進行管理を行い、計画の実現性を高めます。
2. コミュニティ・スクールの立ち上げに連携し、地域学校協働本部の設置に向けて、本町の人材や地域情報を収集し、準備を進めます。
3. 青少年指導員、PTA連絡協議会、その他関係団体と連携を図り、青少年の健全育成に努め、青少年の体験学習の場を提供します。
4. 「生涯学習人材登録」や県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」を活用した講座を開催するとともに、町民の主体的・自主的な活動支援をするための生涯学習情報の収集と提供に努めます。
5. 生涯学習館の使用並びに講座の実施において、新型コロナウイルス感染症感染予防・拡大

防止を徹底するとともに、オンラインを含む様々な学習機会を提供します。

6. 「おおいそ文化祭」及び、「おおいそ美術展」の開催方法等の見直しを図り、団体や個人の文化・芸術活動の発表の場の提供について検討します。
7. 社会教育施設（生涯学習館、図書館、郷土資料館）をはじめとした生涯学習関連施設・機関との連携を図り、生涯学習計画の推進に努めます。また、歴史的文化財の活用を図る取り組みを積極的に行い、地域の学びを広げます。
8. 明治記念大磯邸園整備事業について、文化財保護の観点から国・県との連携を図ります。
9. 町指定文化財等の候補について、文化財専門委員の会議で意見を聴取するとともに、文化資源の情報収集に努めます。
10. 文化財資料等の保存・活用を図るため、調査等により蓄積された資料の整理を行います。
11. 誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、身近な問題として人権意識を高める人権教育講演会を開催し、人権への理解を深めます。

### 《図書館の基本方針》

乳幼児から高齢者まであらゆる世代が豊かな心を養えるよう、興味や関心を満たす機会を提供する場とし、町民の生涯学習活動の拠点となる「町民の書齋としての図書館」を目指して、図書館利用サービスの向上を推進するとともに、生涯学習の充実に向けた支援に努めます。

#### 【目標】

1. 多様化する町民ニーズに応える、親しみの持てる施設として図書館が活用されるよう、幅広い分野から図書館資料を選定し、電子書籍等の充実も視野に入れた読書環境の整備に努めます。
2. 学校図書館と連携し、子どもたちの本との出会いが自主的な読書活動に繋がるよう支援します。
3. まちづくりなど、地域の課題解決に必要な郷土・地域資料の収集・提供に努め、町民の自主的な生涯学習活動を支援します。
4. 生涯学習の拠点として快適な環境を提供するため、老朽化した施設・設備の改善を計画的に進めます。

#### 【重点施策】

1. 「図書館サービス計画（附）第四次子ども読書活動推進計画」に基づき、図書館利用の普及に努めます。
2. 学校図書館と情報を共有し、ブックリストの作成、授業支援のための本の貸出しをするとともに、保育所・幼稚園等と連携し、子どもたちの読書・学習環境の整備に努めます。
3. ホームページを活用し、郷土資料の公開や、図書館資料のテーマ別展示・紹介、レファレンスサービス（\*）の回答集の作成など、図書館情報の発信に努めます。
4. 『長寿命化計画』に基づき、社会教育施設3館の長寿命化基本計画策定について協議します。
5. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮した図書館サービスの調査・研究に努めます。

## 《郷土資料館の基本方針》

郷土資料館のテーマである「湘南の丘陵と海」に基づき、資料の調査収集、整理保管、研究活用を進めるとともに、利用者や地域住民と連携した活動を目指します。

### 〔目標〕

博物館サービスを向上させ、利用者にとって魅力があり、利用しやすい施設運営を目指します。

### 〔重点施策〕

1. 郷土資料館と旧吉田茂邸を一体的に運営し、相乗効果が表れる効率的な企画を進めます。
2. 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮した施設の管理・運営に努めます。
3. 新たな吉田茂関連製品の開発等により、旧吉田茂邸の魅力を高め、観覧者へのサービス向上に努めます。
4. 児童・生徒が郷土をより良く理解するために、近現代史を中心とした大磯の歴史を分かりやすく解説した冊子を作成します。
5. 各種ワークショップを開催し、住民との協働による博物館活動を展開します。
6. 老朽化した空調設備を更新することにより、施設の適正な維持管理に努めます。
7. 学芸員の講師派遣や、博物館資料の活用等により、町内外の学習活動を支援します。

## 【\*用語の解説】

### コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

学校と地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組み。

### ティームティーチング

複数の教師が協力して行う授業方式の一つ。略称 TT。リーダーの教師を中心として、何人かの教師たちが協力しあい、授業を行う。

### GIGA スクール構想

Global and Innovation Gateway for All の略。

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用 PC と高速ネットワーク環境などを整備する計画で、子どもたち一人ひとりの個性に合わせた教育の実現を目的とする。

### ICT

Information and Communication Technology の略。情報・通信に関連する技術一般の総称である。従来用いられてきた「IT」とほぼ同様の意味で用いられるもので、「コミュニケーション」が加わっている点に特徴がある。

### インクルーシブ教育

障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが同じ場で共に学び、共に育つことを通してお互いを理解し、尊重し合う共生社会の実現を目指す教育。

### 教育支援員

学校等において、障害等の理由により特別な教育的支援を必要とする児童・生徒を指導する教員を補助するとともに、当該児童・生徒の教育活動を支援する職員をいう。

### 指導協力員

教員免許状を有し、学校等において、児童等を指導する教員を補助するとともに、当該児童等への学習指導を行う職員をいう。

### スクールカウンセラー

各学校において支援体制の構築及び相談機能の充実、教職員との協力体制を密にする目的で教育研究所に配置した公認心理士及び臨床心理士。

### スクールソーシャルワーカー

様々な課題を抱える児童・生徒の置かれた環境への働きかけや、学校と関係機関等とのネットワークの構築・保護者や教職員等に対する支援や相談、情報提供等を行う社会福祉士。

## **スクールロイヤー**

スクールロイヤーは、いじめや体罰、虐待など困難な問題の解決に向けて、学校及び教育委員会の相談を受けることができる弁護士。

## **レファレンスサービス**

利用者が必要とする情報・資料を図書館員が検索・提供・回答する業務。

令和5年度（令和4年度対象）

## 教育委員会点検・評価報告書

発行者 大磯町教育委員会

編集者 教育部 学校教育課

〒255-8555 大磯町東小磯 183

☎ : 0463-61-4100 / FAX : 0463-61-1991

ホームページアドレス

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/kosodate/kyouikuiinkai/index.html>

発行 令和5年11月